Endeavor NJ3500E/5500E

ユーザーズマニュアル

Windows 7

電子の情報もご覧ください

PCお役立ちナビ p.4

本機の情報を簡単検索できるサポートツールです。デスクトップ上のアイコンから起動します。

ユーザーサポートページ p.6

各種サポート情報を提供しています。
http://www.epsondirect.co.jp/support/

ご使用の前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

情報マップ（知りたい情報はどこにある？）

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

やりたいこと

購入時

- 本機の添付品を知りたい p.10
- 本機を設置したい p.12
- Windowsをセットアップしたい p.16
- 本機の仕様を知りたい p.72
- 添付されているソフトウェアを知りたい p.69

使いはじめ ～ 使いこなしたいとき

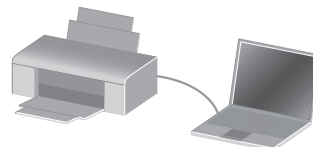
- インターネット/メールをしたい
- ソフトウェアの操作方法を知りたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 周辺機器（プリンター、デジタルカメラなど）を使いたい
- 用語を調べたい

- オプション製品（マウス、ソフトウェアなど）を使いたい

- 光ディスクメディアやメモリーカードを使いたい

- 無線LANに接続したい（オプション）

- セキュリティー設定をしたい

- USB機器を接続したい

- 画面表示やサウンドの設定をしたい
- 省電力で使いたい
- BIOSの設定を変更したい
- HDD領域を変更したい
- 消去禁止領域のデータをバックアップしたい

- メモリーを増設したい p.25
- データをバックアップしたい p.40
- 再インストール（リカバリー）したい p.35

困ったとき

- トラブルを解決したい p.49
- システム診断をしたい p.5, 63

故障したとき

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい

紙マニュアル
紙で添付されている情報です。

PC お役立ちナビ
コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所

『ユーザーズマニュアル』(本書)

[お役立ち]

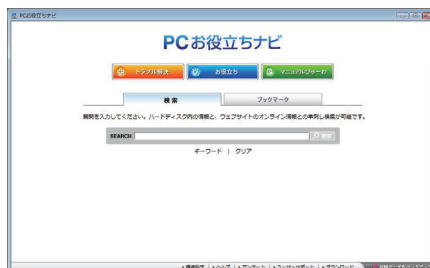
[マニュアルびゅーわ] –
「オプション製品のマニュアル」

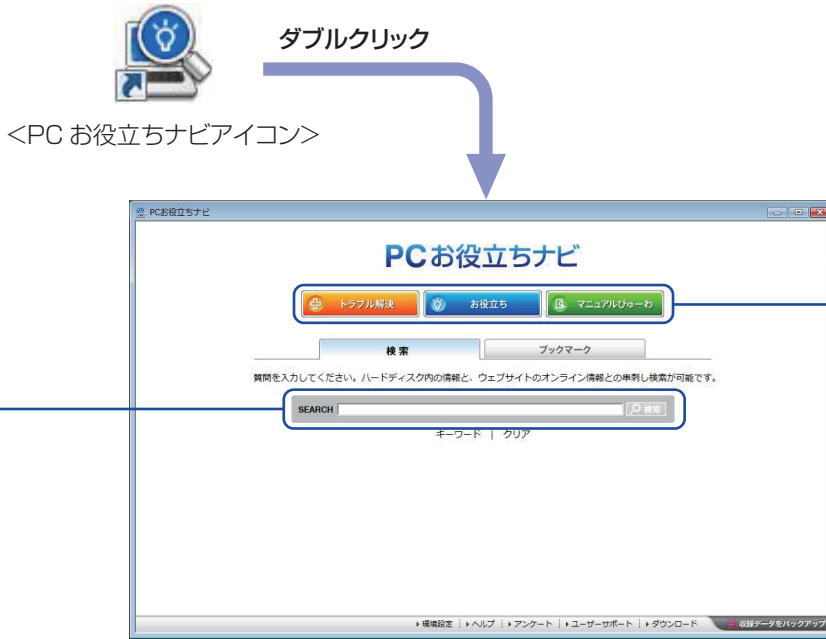
[マニュアルびゅーわ] –
「機種名」–「ユーザーズマニュアル補足編」

『ユーザーズマニュアル』(本書)

[トラブル解決]

『サポート･サービスのご案内』

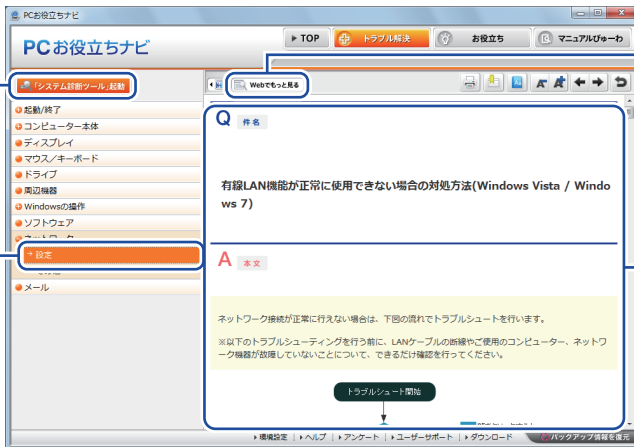
PCお役立ちナビ p.4

PC お役立ちナビを使う

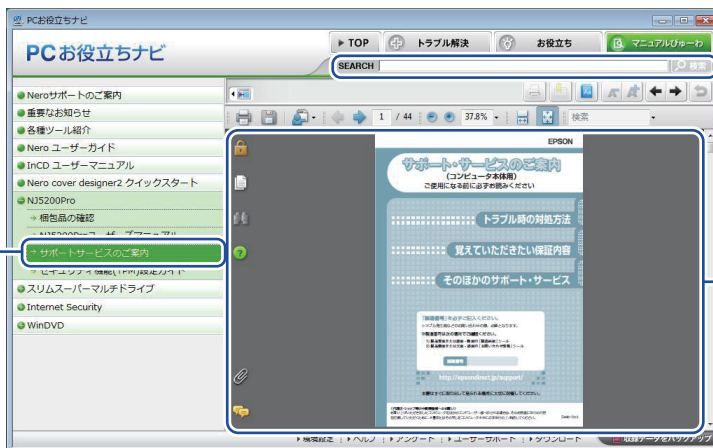
本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。

① 検索する

TOPページから検索実行 → 本機に収録されている情報+ユーザーサポートページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル（PDF）・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決 トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

お役立ち コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

マニュアルびゅーわ コンピューターやオプション製品のマニュアル（PDF）を収録しています。

<画面はイメージです>

ユーザーサポートページ

当社では、コンピューターを安心してお使いいただけるよう、ホームページ上で各種サポート情報を提供しています。

トラブル解決方法や技術情報を見る ➡ **FAQ Search**

※「PC お役立ちナビ」からも同様の検索ができます。

最新の BIOS / ドライバー / マニュアルをダウンロードする ➡ **ダウンロード**

※「PC お役立ちナビ」右下の「ダウンロード」からもアクセスできます。

修理のご案内や保守・保証情報を見る ➡ **アフターサービス**

アクセス方法

ユーザーサポートページへは、次の場所からアクセスできます。

- http://www.epsondirect.co.jp/support/
- 「PC お役立ちナビ」右下の「ユーザーサポート」
- Internet Explorer「お気に入り」内の「サポートページ（パソコン）」

<画面はイメージです>

目次

1 購入時の作業

2 装置の増設・交換

3 ソフトウェアの再インストール

4 困ったときは

付録

購入時の作業

コンピューター購入時の作業について説明します。

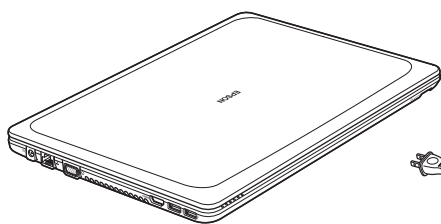
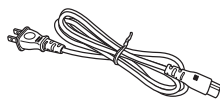
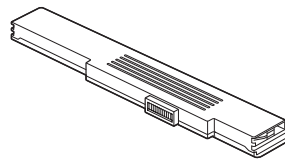
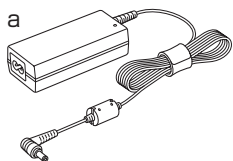
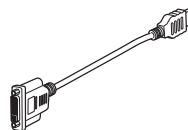
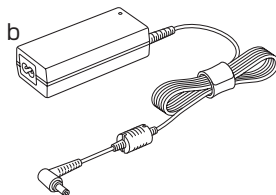
梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後８日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧ください。

保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。

※ このほかにもオプション製品が添付されている場合があります。
　オプション製品は納品書でご確認ください。

2 ディスクを確認する

ディスク類がそろっているか、確認してください。

□ Windows 7 リカバリー DVD

□ リカバリーツール CD

※ 本機のドライバーやソフトウェアのインストール用データは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、ディスクは添付されていません。
※ このほかにもオプション製品のディスクが添付されている場合があります。

3 マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

冊子マニュアル

- □ ユーザーズマニュアル（本書）
- □ 安全にお使いいただくために
- □ サポート・サービスのご案内

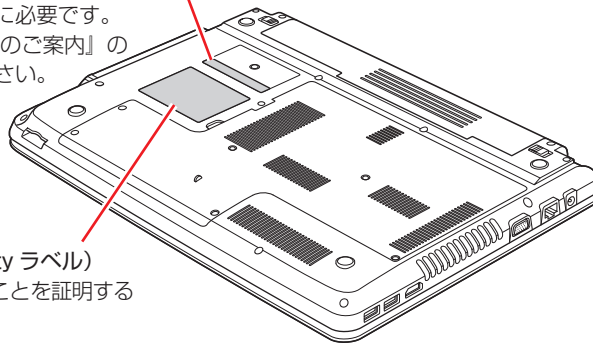
電子マニュアル（HDD 内に PDF データで収録されています p.5**）**

- □ ユーザーズマニュアル 補足編（PDF）
- □ オプション製品のマニュアル（PDF）

※ このほかにも冊子や電子でマニュアルが添付されている場合があります。

4 貼付ラベルを確認する

本機底面に貼付されているラベルを確認してください。

制限　ラベルは絶対にはがさないでください。

コンピューターを設置する

本機にバッテリーパックと AC アダプターを取り付け、使用できる状態にする手順を説明します。
プリンターなどの周辺機器は、Windows のセットアップ後に接続してください。

設置における注意

注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 起動状態で本機の通風孔をふさがないでください。
  起動状態で通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。次の点を守ってください。
  - じゅうたんや布団の上に置かない。
  - 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
  - キャリングケースやバッグなどに入れない。
- ひざの上で長時間使用しないでください。本機底面が熱くなり、低温火傷の原因となります。

各種コードやバッテリーパック装着時の注意

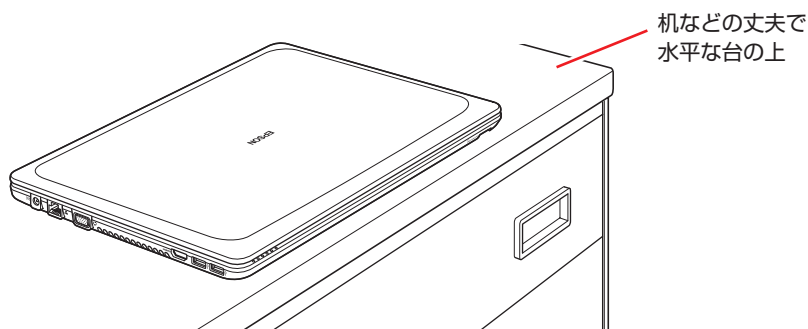
警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - 電源プラグは刃の先まで確実に差し込む。

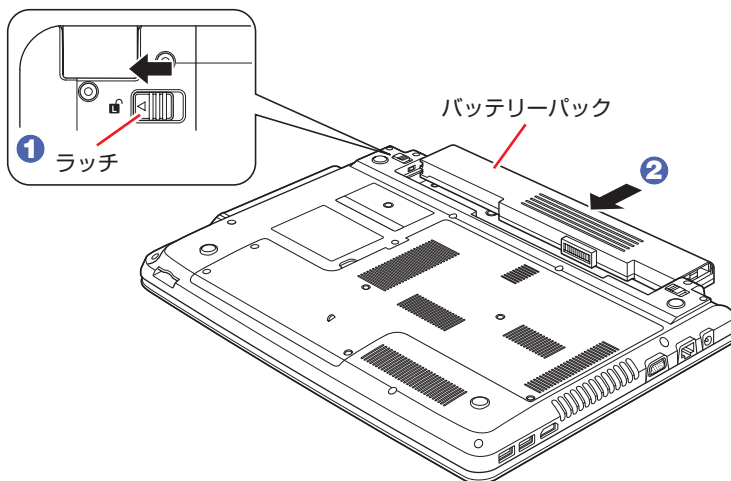
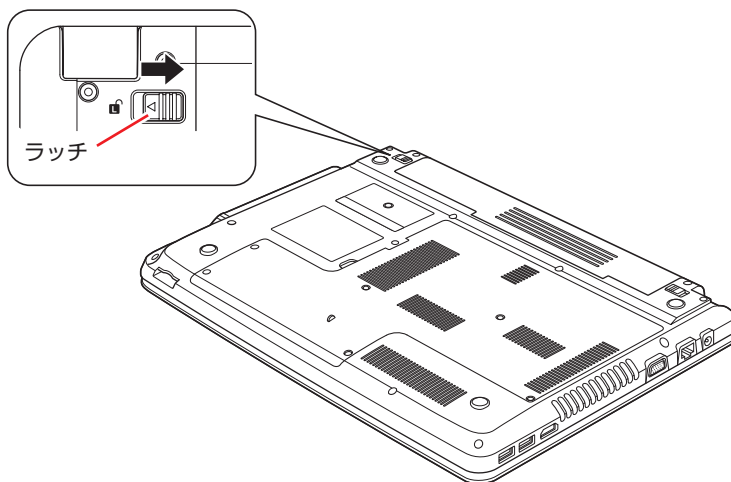
注意

各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

1 **本機を設置する場所を確保します。**

左側面および底面の通風孔をふさがないようにしてください。

2 底面を上にして置き、バッテリーパックを取り付けます。

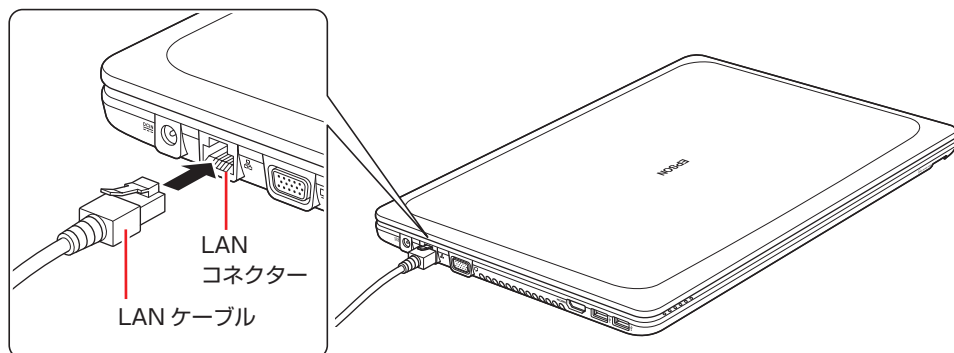
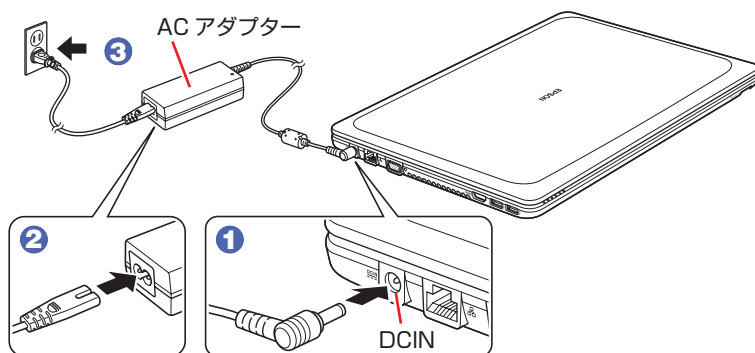
❶ 左側のラッチを、ロック解除位置（🔓）に移動します。

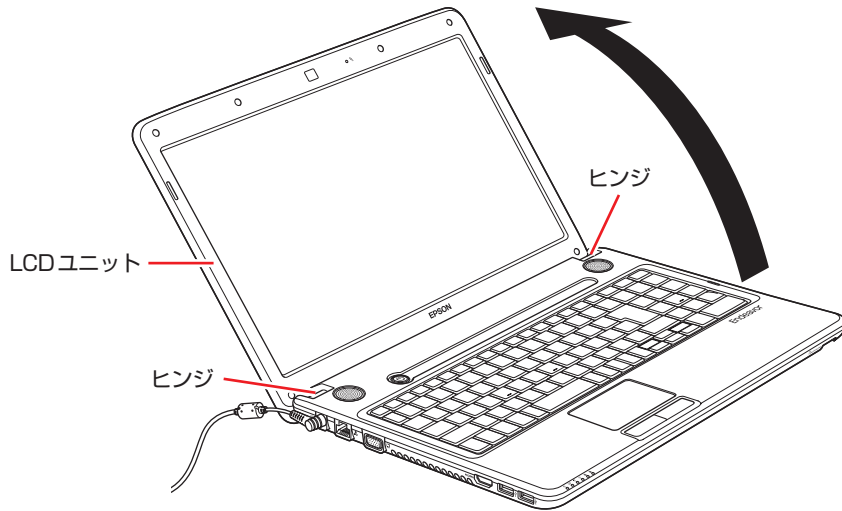
❷ バッテリーパックを本機に合わせ、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで、バッテリーパックをしっかり押し込みます。

❸ 左側のラッチを、右に移動します。

出荷時にバッテリーパックは満充電状態ではありません。バッテリーパックだけで使用する場合は、使用前に充電が必要です。バッテリーパックを取り付けて、 p.14 4 のとおりACアダプターを本機に接続すると充電されます。

「PCお役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「ACアダプター / バッテリーパックを使う」

バッテリーパックの充電は、必ず動作環境（10 ～ 35 ℃）で行ってください。動作環境（10 ～ 35 ℃）以外では、正常に充電されません。

3 天面を上にして置きます。ネットワーク（有線 LAN）を使用する場合は、市販の LAN ケーブルを本機左側面の LAN コネクター（ 品 ）に接続します。

LAN ケーブルが抜けないように、しっかり差し込んでください。

4 AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターは、ADP-65JH（NJ3500E に添付）のイラストを使用しています。

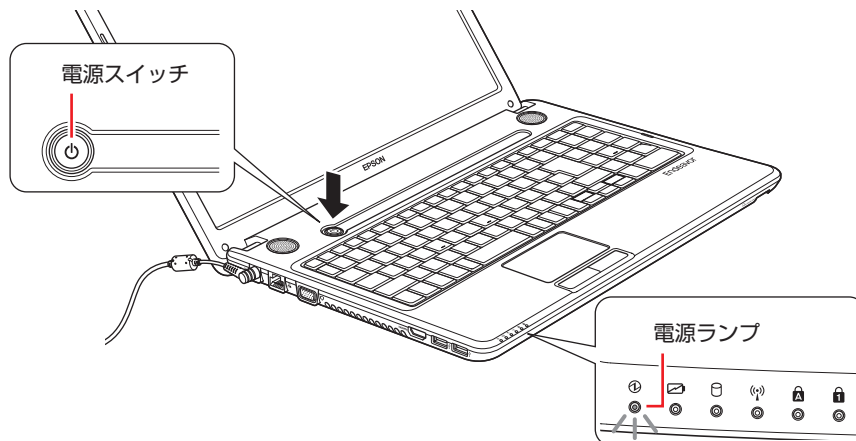
5 LCD ユニットを開きます。

制限 LCD ユニットの開閉可能な最大角度は、およそ 135 度です。
最大角度を超えて LCD ユニットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。

続いて、Windows のセットアップを行います。

Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

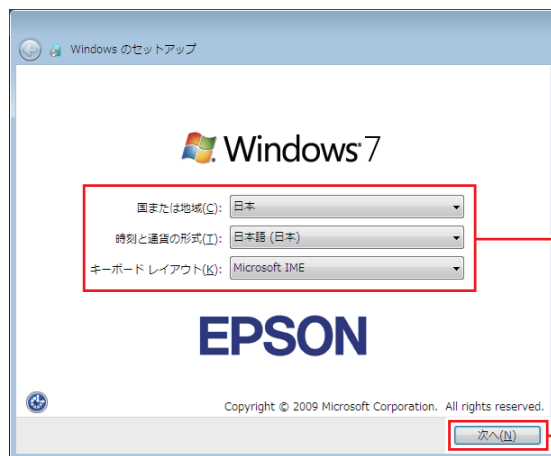
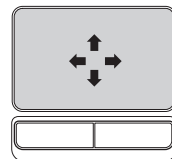
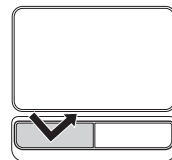
1 電源スイッチ（⏻）を押して、本機の電源を入れます。

電源ランプ（⏻）と電源スイッチ（⏻）が青色に点灯します。

画面に「EPSON」と表示され、しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。

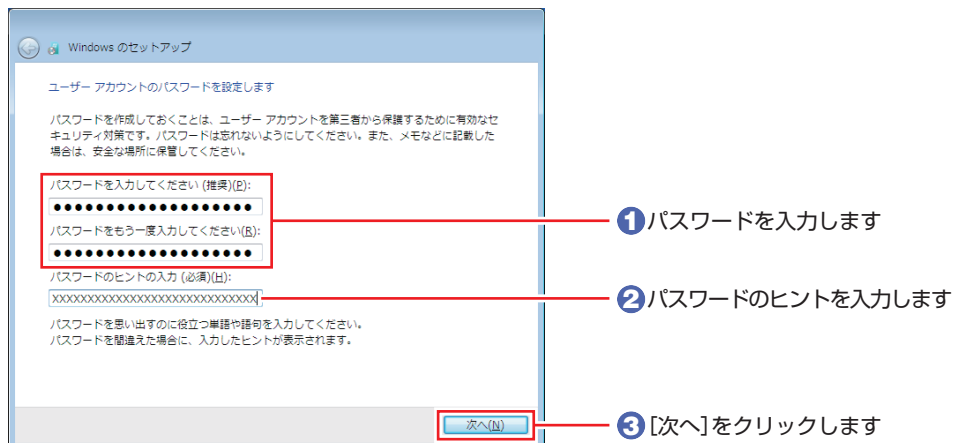
電源が入らないときは

AC アダプターやバッテリーパックが正しく接続されているか確認してください。

2 セットアップを開始します。

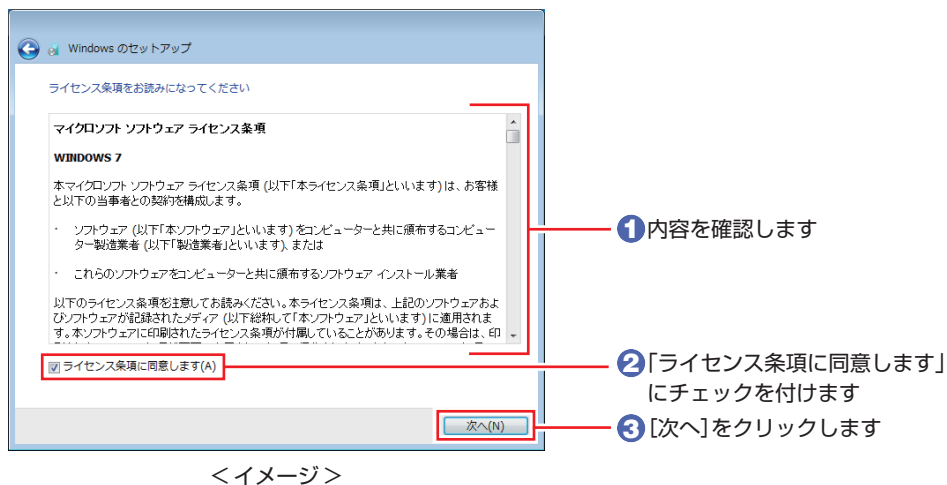
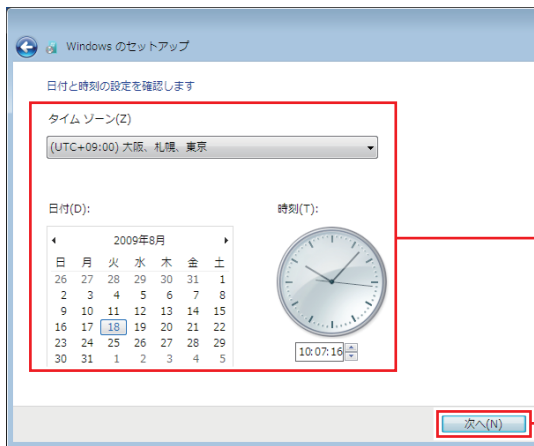
セットアップは、タッチパッドを操作して行います。

<イメージ>

3 ユーザー名とコンピューター名を入力します。

※ユーザー名、コンピューター名は半角英数字を入力してください。

<イメージ>

4 任意でパスワードを設定します。

5 ライセンス条項を確認します。

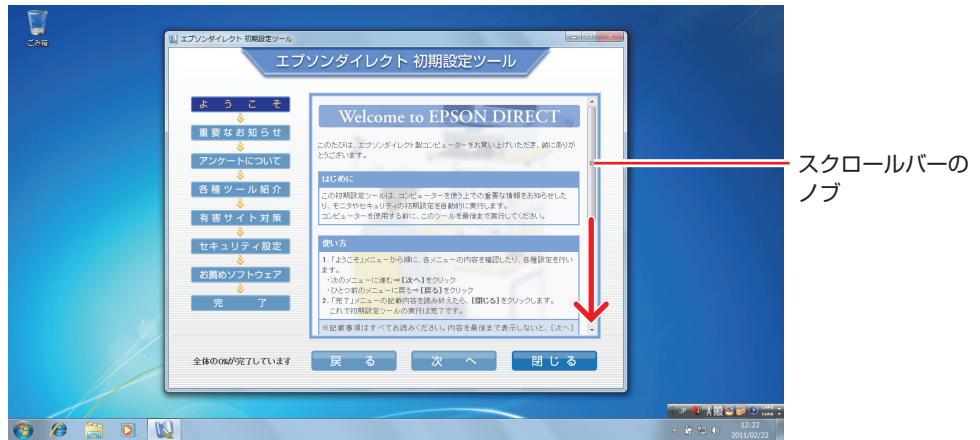
<イメージ>

6 更新の設定をします。

7 日付と時刻を確認します。

8 無線 LAN（オプション）内蔵時に「ワイヤレスネットワークの接続」画面が表示された場合は、［スキップ］をクリックします。

無線 LAN の設定はセットアップ後に行います。

9 ネットワークに接続している場合は、現在の場所を選択します。

10 デスクトップに「初期設定ツール」が表示されたら、画面に従って添付されているソフトウェアのインストールなどを行います。

画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、［次へ］はクリックできません。

<イメージ>

「ATOK 無償試用版（30 日間）」のインストール後に、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」と記載された画面が表示される場合があります。「ATOK 無償試用版（30 日間）」は正しくインストールされていますので、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックして画面を閉じてください。

これで本機を使用できます。

続いて、セットアップ後の作業を行います。

●ライセンス認証

購入時の本機にインストールされている Windows や、「Windows 7 リカバリー DVD」から再インストールを行った Windows は、ライセンス認証を行う必要がありません。

●「初期設定ツール」が起動しないときは

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合は、次の場所から起動することができます。

[スタート] ー「すべてのプログラム」ー「初期設定ツール」

● Ctrl/Fn 、 Fn/Ctrl の初期状態

キーボード左下の 2 つの制御キーは、購入時、キー上部に印字されている文字（ Ctrl 、 Fn ）に設定されています。

●音量を調節する

次のキー操作で音量を調節できます。

キー操作	状態
Fn ＋ F10 🔊/🔇	一度押すとミュート（消音）になり、 もう一度押すとミュートが解除されます。
Fn ＋ F11 ▼🔈	音量が小さくなります。
Fn ＋ F12 ▲🔊	音量が大きくなります。

●画面の明るさを調節する

次のキー操作で画面の明るさを調節できます。

キー操作	状態
Fn ＋ F5 ☀	画面が暗くなります。
Fn ＋ F6 ☼	画面が明るくなります。

省電力状態からの復帰方法

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。省電力状態からの復帰は、次の方法で行ってください。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯	タッチパッドやキーボードを操作する
スリープ	点滅	●電源スイッチを押す ●キーボードを操作する
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

省電力機能の詳細は、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」ー［マニュアルびゅーわ］ー「機種名」ー「ユーザーズマニュアル 補足編」ー「省電力機能」

セットアップ後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの設定が完了したら、次の作業を行います。

Windowsの操作方法を確認する

Windows の操作方法は、次の場所をご覧ください。

［スタート］ －「ヘルプとサポート」

 「PC お役立ちナビ」 － ［お役立ち］

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

無線 LAN 機能（オプション）を ON にする

購入時、本機の無線 LAN 機能は OFF になっています。
無線 LAN をご使用の場合は、次のキー操作で無線 LAN 機能を ON にします。

- **Fn ＋ F2 （ ）を押す**

  キーを押すたびに、ON と OFF が切り替わります。

  無線 LAN 機能の ON/OFF 状態は、無線 LAN 状態ランプ（ ）で確認できます。

  p.67「電源スイッチ / ステータス表示ランプ」

無線 LAN 接続時のセキュリティー設定

無線 LAN に接続する際は、本機と無線 LAN アクセスポイントで、暗号化などのセキュリティー設定が必要です。

 「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「無線 LAN 接続の設定をする」

Web ページの閲覧

Web ページの閲覧には、「Internet Explorer」を使用します。
Internet Explorer は、デスクトップ左下のアイコンから起動します。

<Internet Explorer アイコン >

セキュリティー対策

インターネットに接続する場合は、必ずセキュリティー対策を行ってください。

 「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

「ユーザーズマニュアル 補足編」では、以下のセキュリティー機能について記載しています。

- Windows Update
- セキュリティーソフトウェア（マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版）
- Web フィルタリングソフトウェア（i －フィルター 30 日版）

マカフィー・PC セキュリティセンターのユーザー登録

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使用するには、ユーザー登録が必要です。インターネットに接続後、画面右下、通知領域の McAfee アイコン（ ）をダブルクリックして、ユーザー登録を行ってください。

ユーザー登録を行わないと、製品の更新ができません。また、サポートセンターへの問い合わせにもユーザー登録が必要です。登録しないまま 2 週間以上経過すると、ソフトウェアの自動更新が停止し、最新のセキュリティーで保護されなくなります。

メールの設定をする

電子メールの利用には、「Windows Live メール」を使用します。

Office をインストールしているときは

Office をインストールしている場合は、メールソフト Outlook を使用することもできます。Outlook の使用方法は、Outlook のヘルプをご覧ください。

Windows Live メールの使用方法

Windows Live メールは次の場所から起動します。

［スタート］－「すべてのプログラム」－「Windows Live メール」

メールアカウントの設定画面が表示されたら、画面の指示に従ってメールアドレスなどの情報を入力します。必要に応じて、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。
メールアカウントの追加や変更は、画面上部の「アカウント」－「電子メール」または「プロパティ」で行うことができます。

Windows Live メールの詳しい使用方法は、次の場所をご覧ください。

画面右上の「オンラインヘルプ」

 「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］

Windows Live ポータルサイト（http://windowslive.jp.msn.com/）

古いコンピューターからデータを移す

今までお使いのコンピューターのデータ（メールデータやアドレス帳、Internet Explorer のお気に入りなど）を本機へ移す方法は、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－［目的から選ぶ］－「購入後の設定」－「Windows XP/Windows Vista のデータを Windows 7 に転送する」

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windowsやソフトウェアをアップデートする

Windows やソフトウェアは、アップデートして最新の状態でお使いください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

●ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

システムイメージを保存する

事前にシステムイメージを保存しておくと、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

不具合発生時に回復できるように、システムイメージを保存しておくことをおすすめします。

保存方法は、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「「システムイメージの作成」を使ってバックアップを行う方法」

電源を切る

- HDD のアクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、バッテリーパックが装着されていたり電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］－「シャットダウン」をクリックします。

Windows が終了し、自動的に電源が切れます。

2 接続している周辺機器の電源を切ります。

シャットダウン時の注意

Windows を複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は、［いいえ］をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。

次回電源を入れるときは

本機の電源を入れる際は、次の点に注意してください。

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電気的な負荷を減らして、HDD などの動作を安定させます。

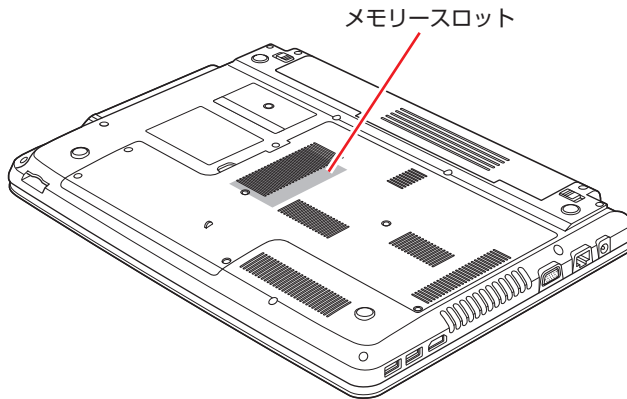
装置の増設・交換

アップグレードサービスやメモリーの増設・交換方法、本機に接続できる装置について説明します。

増設・交換できる装置

本機では、お客様ご自身でメモリー（SODIMM）を増設・交換することができます。

> **制限** 本機では、メモリー以外の装置をお客様ご自身で増設・交換することはできません。

メモリースロット

本機には、メモリースロットが底面に 2 本用意されています。

アップグレードサービス

当社では、本機をお預かりして装置の増設・交換を行うアップグレードサービスを有償で行っています。
本機では、次の装置のアップグレードサービスを利用できます。

●メモリー

●HDD

●光ディスクドライブ

アップグレードサービスをご希望の場合は、カスタマーサービスセンターにご相談ください。カスタマーサービスセンターの連絡先は、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。
本機にはメモリースロットが 2 本あり、メモリーを増設・交換することができます。

Windows 7　32 bit 版：最大 4GB まで
Windows 7　64 bit 版：最大 8GB まで

制限　Windows 7 32 bit 版の場合、本機に合計 4GB のメモリーを搭載しても、システム上利用できるメモリーの最大容量は約 3.4GB までです。

メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC3-10600 SODIMM（DDR3-1333 SDRAM 使用）
- メモリー容量　1GB（NJ3500E のみ）、2GB、4GB
- Non ECC
- 204 ピン
- CL ＝ 9

最新メモリー情報

今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それにともない、最大搭載可能容量が変更になることがあります。メモリーの最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

http://shop.epson.jp/
http://www.epsondirect.co.jp/support/

メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを 2 枚 1 組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。
メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー 2 枚	デュアルチャネルで動作。転送速度最大。
メモリー 1 枚	通常の転送速度で動作（シングルチャネル）。

メモリー取り付け・取り外し時の注意

メモリーの取り付け･取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。

- メモリーの取り付け・取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。
  取り付けたまま作業をすると、感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。

- メモリーの取り付け・取り外しは、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。電源を切って 10 分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や、傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

制限

- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装着する方向を間違えないでください。メモリーが抜けなくなるなど故障の原因になります。
- メモリーを落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

メモリーの取り付け・取り外し

メモリーの取り付け・取り外し手順は、次のとおりです。

取り付け

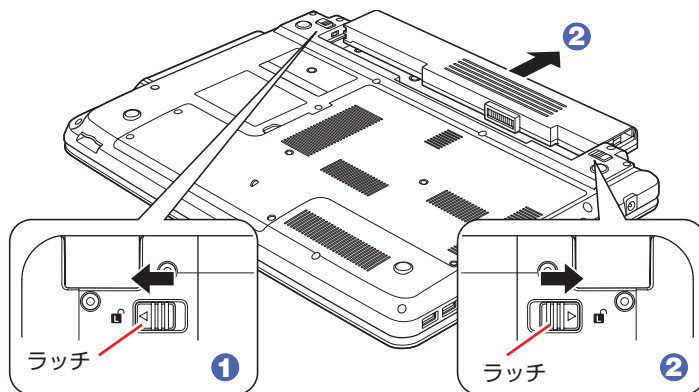
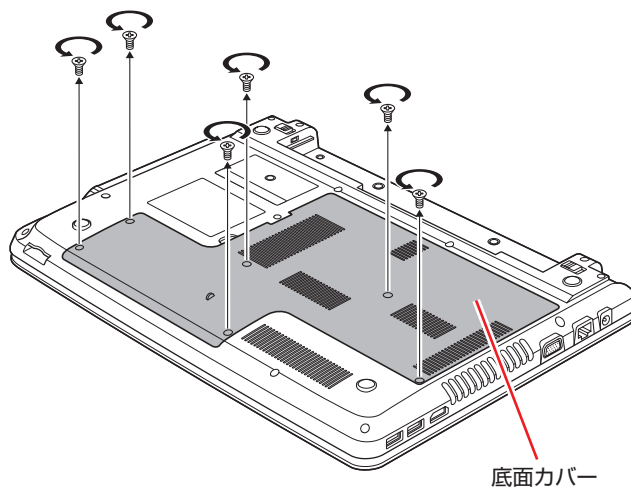
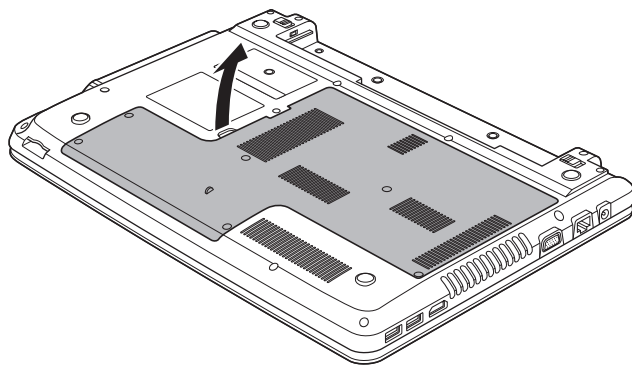
メモリーを取り付ける手順は、次のとおりです。

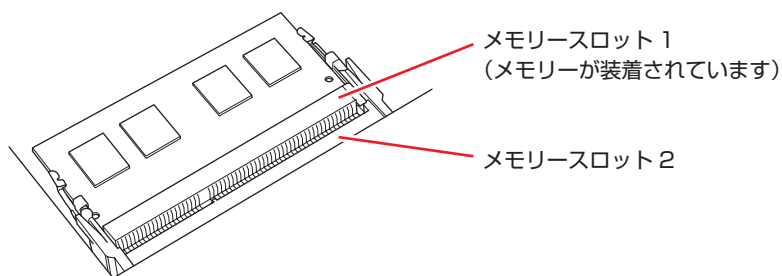
1 **本機の電源を切ります。**

作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで、10 分以上放置してください。

2 **本機に接続しているケーブル類（AC アダプターなど）を、すべて外します。**

3 本機の底面を上にして置き、バッテリーを取り外します。

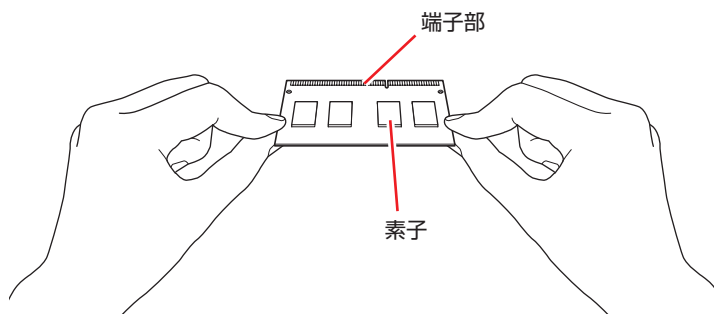
1. 左側のラッチを、ロック解除位置（ 🔓L ）に移動します。
2. 右側のラッチを、ロック解除位置（ 🔓L ）に移動した状態のまま、バッテリーを矢印の方向にスライドさせ、取り外します。

4 底面カバーのネジ（6 本）を外します。

5 底面カバーを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

6 メモリースロット 2 の位置を確認します。

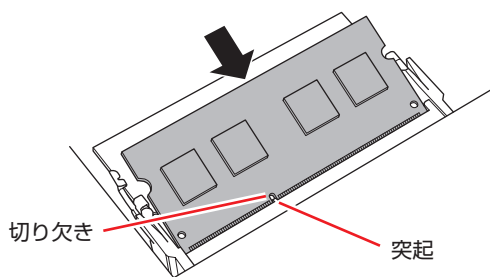
ここではメモリースロット 2 にメモリーを取り付ける手順を説明します。

メモリースロット 1 のメモリーを交換する際、メモリースロット 2 にメモリーが装着されているときは、メモリースロット 2 のメモリーを取り外してから作業を行ってください。

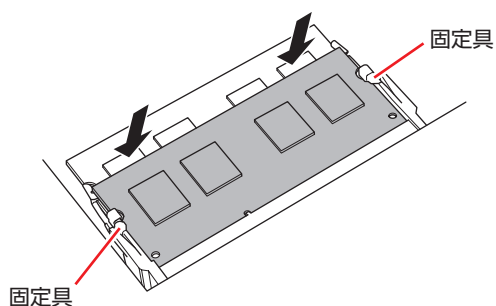
p.32「取り外し」

7 メモリーを取り付けます。

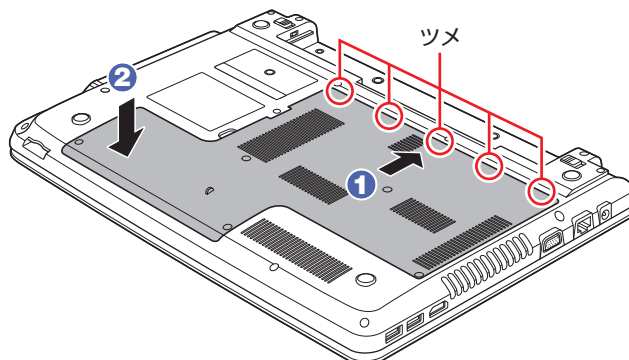
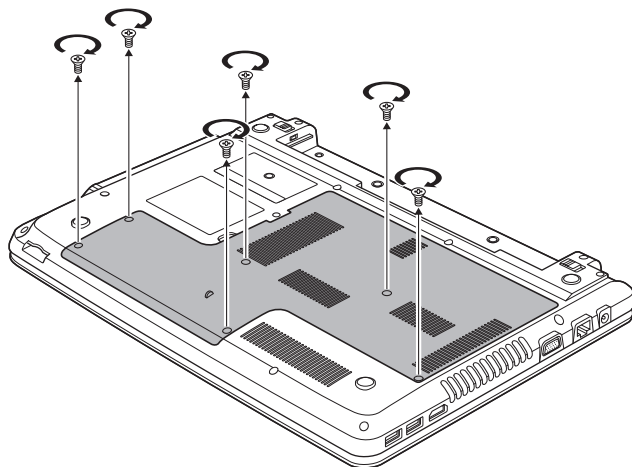
❶ メモリーを静電防止袋から取り出します。

メモリーの端子部や素子に触れないように持ちます。

❷ メモリーを、メモリースロット 2 に差し込みます。

切り欠きを突起に合わせ、メモリーを約 30 度の角度でメモリースロットに差し込みます。

❸ メモリーを静かに倒します。

正しく装着すると、「カチッ」と音がして両側の固定具で固定されます。

8 底面カバーを取り付けます。

❶ 底面カバーのツメを本体に合わせます。

❷ 底面カバーをはめ込みます。

9 底面カバーをネジ（6 本）で固定します。

10 バッテリーを取り付けます。

p.13「コンピューターを設置する」2

11 本機の底面を下にして置きます。

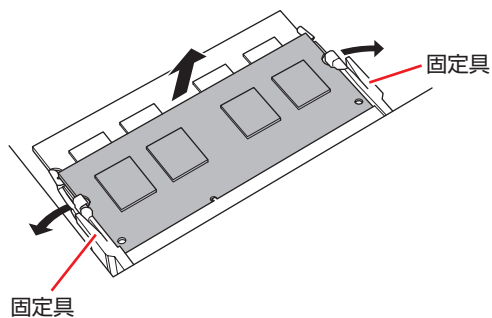
12 2 で取り外したケーブル類（AC アダプターなど）を接続します。

続いてp.33「メモリー取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

メモリーの取り外しは、p.30「取り付け」の 6 ～ 7 を次の手順に読み替えて行ってください。
ここでは、メモリースロット 2 のメモリーを取り外す手順を例に説明します。

1 メモリーの両側を固定している固定具を外側に広げます。

メモリーが起き上がります。

2 起き上がったメモリーの両端を持って静かに引き抜きます。

取り外したメモリーは、静電防止袋に入れて保管してください。

メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリーの容量を確認します。
メモリー容量の確認方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源を入れて「EPSON」と表示されたら、すぐに F2 を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「BIOS Setup ユーティリティー」を起動します。**

2 **「Main」メニュー画面－「System Memory」でメモリー容量を確認します。**

3 **F10 を押して BIOS Setup ユーティリティーを終了します。**

2 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

外付け可能な周辺機器

本機のスロットやコネクターには、次のような周辺機器を取り付けることができます。
各コネクターへの接続方法は、接続する機器のマニュアルや次をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」

●USB2.0 コネクター
・プリンター ・デジタルカメラ
・スキャナー ・USB 機器

●マイク入力コネクター
・マイク

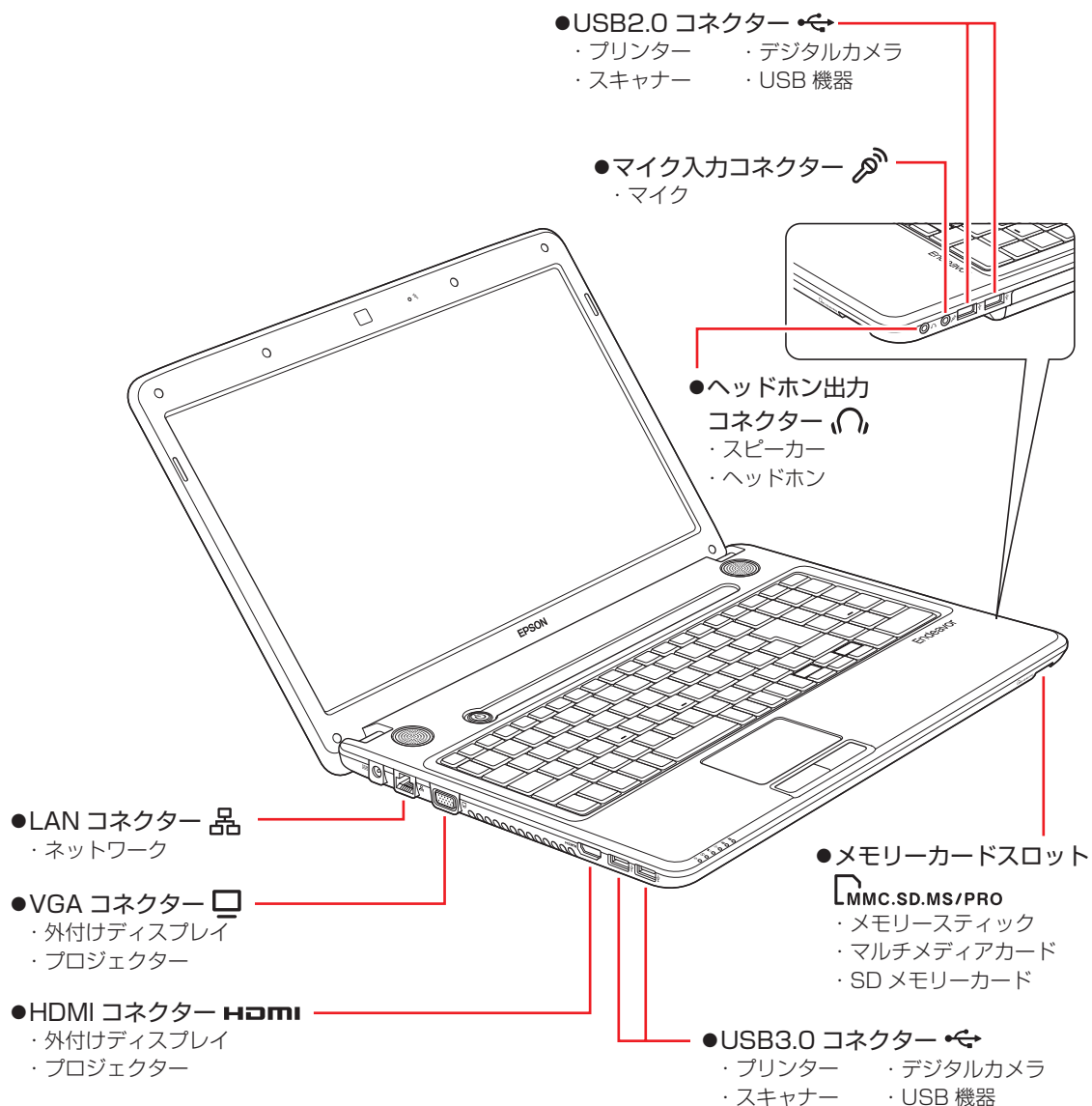
●ヘッドホン出力コネクター
・スピーカー
・ヘッドホン

●LAN コネクター
・ネットワーク

●VGA コネクター
・外付けディスプレイ
・プロジェクター

●HDMI コネクター HDMI
・外付けディスプレイ
・プロジェクター

●メモリーカードスロット
MMC.SD.MS/PRO
・メモリースティック
・マルチメディアカード
・SD メモリーカード

●USB3.0 コネクター
・プリンター ・デジタルカメラ
・スキャナー ・USB 機器

そのほかの接続可能な周辺機器

本機では、ケーブルを介さずに次の機器が接続できます。

• 無線 LAN 対応機器（無線 LAN 内蔵時のみ機能）

3 ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

再インストールの前に

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に必要な情報を記載しています。

再インストールとは

本書では、HDD をフォーマットして、Windows や本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、「再インストール」と記載します。
再インストールは「リカバリー」とも言います。

再インストールが必要な場合

再インストールは、なんらかの原因で Windows が起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合に行います。通常は必要ありません。

HDD 領域の変更

HDD 領域の変更は、再インストールをしなくても、Windows の「ディスクの管理」で行うことができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「HDD 領域の変更」

Windows を修復する

なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows 回復環境」で Windows の修復を行ってみてください。再インストールをしなくても、問題が解決する場合があります。

 p.61「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※ 再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。
システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

重要事項

再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

当社製以外の BIOS へのアップデート禁止

当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外の BIOS にアップデートすると、再インストールができなくなります。

Web フィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付の Web フィルタリングソフトウェア「i －フィルター 30 日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windows を再インストールすると利用期限が 30 日に設定されてしまいます。
この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアル ID を利用してインストールを行ってください。
詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

http://www.daj.jp/cs/support.htm

最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業を進めてください。

必要なメディア

再インストールには、次のメディアが必要です。

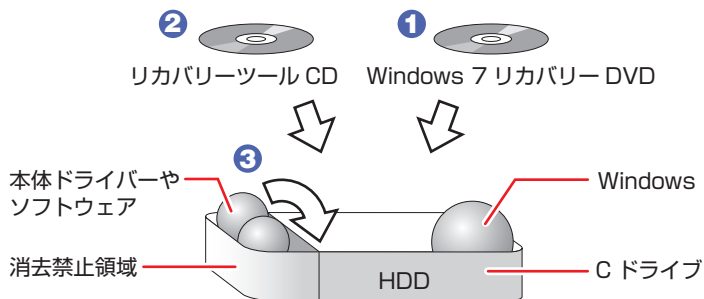
● Windows 7 リカバリー DVD
Windows が収録されています。

● リカバリーツール CD
本体ドライバーやソフトウェアを、HDD の「消去禁止領域」からインストールするためのプログラムが収録されています。

● そのほか必要なメディア
お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

本体ドライバーやソフトウェアは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、専用のメディアは添付されていません。
p.69「添付されているソフトウェア」

再インストールの概要

ソフトウェア再インストールの概要は、次のとおりです。

❶ Windows 7 リカバリー DVD から、Windows をインストールします。

❷ リカバリーツール CD から、リカバリーツールをインストールします。

❸ リカバリーツールを使用して、HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。

インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

●インストール全般

インストール作業は、AC アダプターを接続して行ってください。

●管理者（Administrator）のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者（Administrator）のアカウントでログオンして行ってください。

●システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOS の設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

●ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。
実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD 領域の数によって異なります。

C ドライブ：HDD

D ドライブ：光ディスクドライブ

●各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が元に戻ってしまったり、データが消去されたりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。

p.40「バックアップを取る」

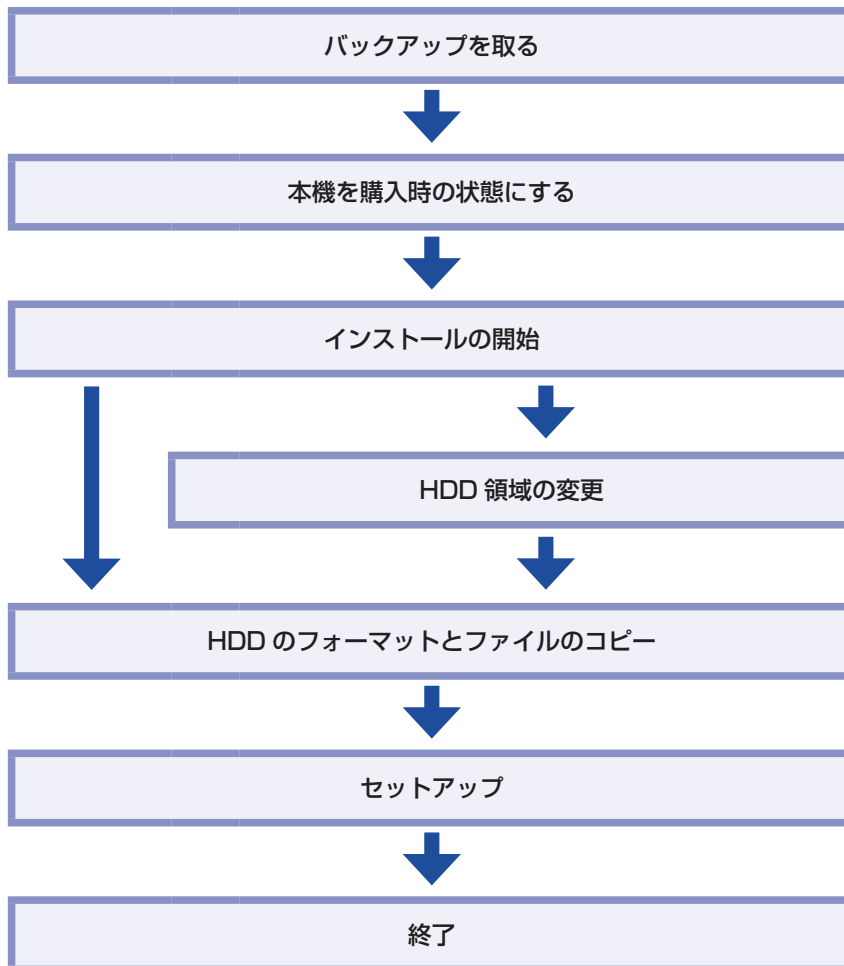
●初期設定ツール

初期設定ツールは、Windows を再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールしたソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

Windows のインストール

Windows のインストールについて説明します。

インストールの流れ

Windows のインストールの流れは次のとおりです。

バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。再インストールの前に、次の設定やデータのバックアップを行ってください。*

●ネットワークの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。

●Internet Explorer の「お気に入り」・Windows Live メールの「アドレス帳」やメールデータ

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows 転送ツールを使う」

このほかの Web 閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

●そのほか重要なデータ

* 再インストール中に HDD 領域の変更を行うと、C ドライブ以外のドライブ（D や E など）のデータも消えてしまいますので、バックアップを行ってください。
HDD 領域の変更を行わない場合でも、念のためバックアップを取ることをおすすめします。

本機を購入時の状態にする

マウスなどの周辺機器が接続されていたり、BIOS の設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

Windows 7のインストール

Windows 7 のインストール方法は、次のとおりです。
Windows 7 Ultimate/Professional の場合、Windows XP Mode も同時にインストールされます。

1 **本機の電源を入れ、「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットします。**

「自動再生」画面が表示されたら、[×] をクリックし、画面を閉じてください。
ここからはインストールを行いません。

2 **［スタート］－［▷］－「再起動」をクリックして、本機を再起動します。**

3 **「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。**

一定時間内にキーを押さないと、HDD 内の Windows が起動してしまいます。Windows が起動してしまった場合は、2 へ戻ります。

4 **「システム回復オプション」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。**

5 オペレーティングシステムの一覧画面が表示されたら、「Windows の起動に伴う…」を選択し、［次へ］をクリックします。

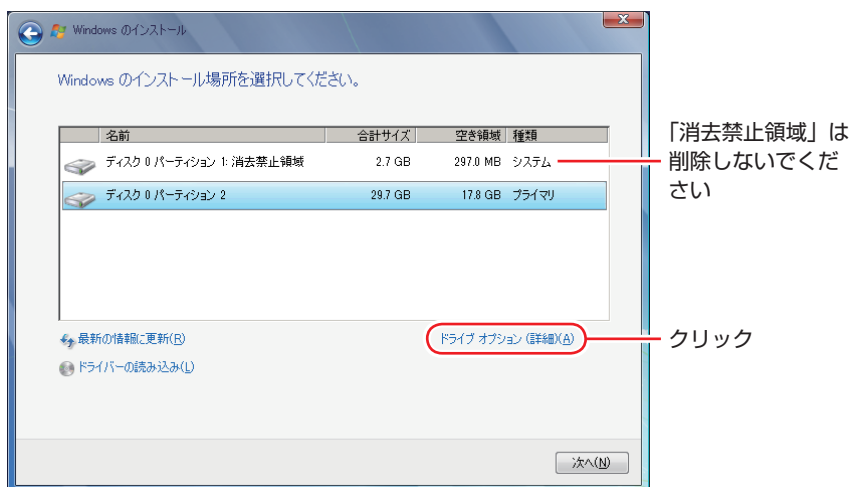
6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windows の再インストール」をクリックします。

7 「インストールを開始しますか？」と表示されたら、［はい］をクリックします。

8 「インストールするオペレーティングシステムを選択してください」と表示されたら、［次へ］をクリックします。

9 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「同意します」にチェックを付けて、［次へ］をクリックします。

10 「Windows のインストール場所を選択してください。」と表示されたら、「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。

※「消去禁止領域」には、ドライバーやソフトウェアの再インストール用データが収録されています。絶対に削除しないでください。

＜イメージ＞

場合によって、次のとおり作業を続けます。

領域変更を行わない場合（通常）

❶ 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。

❷ 「パーティションには…」と表示されたら、［OK］をクリックします。

フォーマットが開始されます。

❸ フォーマットが終了すると、［次へ］がクリックできる状態になります。
「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で［次へ］をクリックします。

Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。
11 の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

領域変更を行う場合

❶「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。

❷「パーティションには…」と表示されたら、［OK］をクリックします。
削除したパーティション（C ドライブ）が「未割り当て領域」となります。

❸ 次のとおり作業を続けます。

C ドライブを分割したい場合

（1）「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。
❹ に進みます。

C ドライブの容量を増やしたい場合

すでに HDD が分割されている場合は、C ドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

（1）消去禁止領域以外の、そのほかのパーティションを C ドライブと同様に削除し、「ディスク 0 未割り当て領域」を増やします。

（2）「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。
❹ に進みます。

❹ C ドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。
C ドライブには、80GB（80000MB）程度を割り当てることをおすすめします。

❺「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で、［次へ］をクリックします。
Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。
11 の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

11 「新しいアカウントのユーザー名と…」と表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、［次へ］をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名は半角英数字を入力してください。

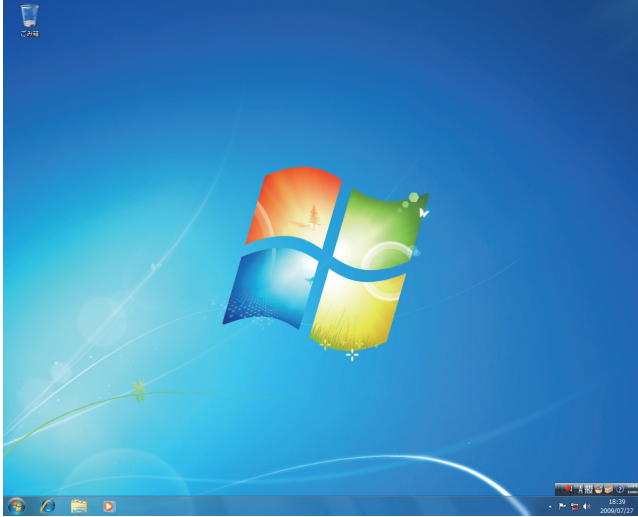
12 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」と表示されたら、パスワード（任意）を入力し、［次へ］をクリックします。

13 「コンピューターの保護と…」と表示されたら、更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

14 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ] をクリックします。

15 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

16 Windows のデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「Windows 7 リカバリーDVD」を光ディスクドライブから取り出します。

これで Windows 7 のインストールは完了です。
続いて、本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。
p.44「ドライバー / ソフトウェアのインストール」

領域変更を行ったら

Windows のインストール中に領域変更を行った場合は、すべてのインストール作業が終わった後で、「未割り当て領域」をドライブにします。
p.47「ドライブを作成する」

ドライバー / ソフトウェアのインストール

Windows をインストールしたら、ドライバーやソフトウェアをインストールします。
購入時のインストール状態は、p.69「添付されているソフトウェア」で確認してください。

リカバリーツールのインストール

ドライバーやソフトウェアをインストールするためのツール「リカバリーツール」をインストールします。
リカバリーツールのインストール方法は、次のとおりです。

1 **「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットします。**

2 **「自動再生」画面が表示されたら、「setup.exe の実行」をクリックします。**

「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] －「コンピューター」－「EPSON_CD」をダブルクリックします。

3 **以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
インストールが完了すると、デスクトップ上に「リカバリーツール」アイコンが表示されます。

<リカバリーツールアイコン>

4 **「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブから取り出します。**

これで「リカバリーツール」のインストールは完了です。

リカバリーツールからインストールする

次のドライバーやソフトウェアは、リカバリーツールを使用してインストールします。

- 本体ドライバー
- Adobe Reader
- Endeavor 電源プラン設定ツール
- Nero Multimedia Suite 10 Essentials
- WinDVD
- アプリケーション CD
  - Windows Live Essentials
  - マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版
  - Internet Explorer 9
  - i －フィルター 30 日版
  - Bing Bar

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール

マカフィー･PC セキュリティセンター 90 日期間限定版は、マカフィー社の登録ユーザー向けサービス「マイアカウント」から最新版をインストールすることをおすすめします。

https://jp.mcafee.com/root/login.asp

※サービスを利用するには、事前にユーザー登録が必要です。

ユーザー登録をされていない場合は、リカバリーツールからインストールしてください。再インストール用データは、バージョンが古い可能性があります。ライセンス契約中であれば、オンラインで最新バージョンにアップデートが可能です。

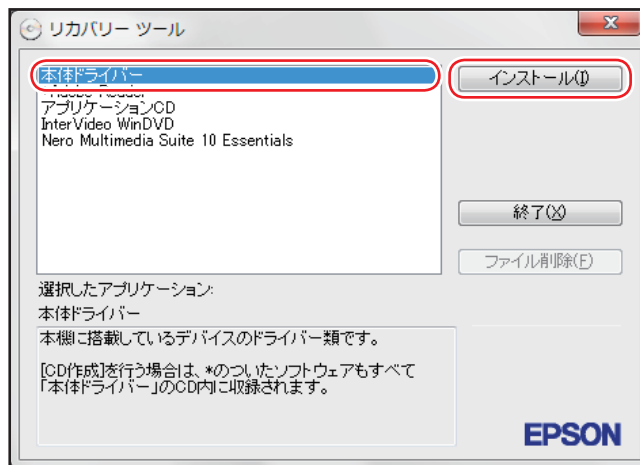
リカバリーツールからドライバーやソフトウェアをインストールする方法は、次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。**

3 **「リカバリーツール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。**

4 **ドライバーやソフトウェアの一覧が表示されたら、インストールする項目を選択して［インストール］をクリックします。**

※最初は必ず「本体ドライバー」をインストールしてください。

＜イメージ＞

5 **以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。**

本体ドライバーの場合

「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックしてください。インストールが完了したら、［PC 再起動］をクリックして、コンピューターを再起動します。

アプリケーション CD の場合

「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、インストールする項目をクリックしてください。

Windows Live Essentials の場合

「インストールするプログラムの選択」と表示されたら、「インストールする製品の選択」をクリックしてください。製品の一覧が表示されたら、そのまま［インストール］をクリックすると、購入時と同じ製品がインストールされます。

リカバリーツールの［ファイル削除］の表示について

リカバリーツールからインストールを行う際、ソフトウェアによっては一時的に HDD にインストール用データをコピーします。「リカバリーツール」画面で［ファイル削除］が黒字で表示されるときは、コピーされた不要なインストール用データが HDD に残っています。［ファイル削除］をクリックしてデータを削除すると、HDD の容量を節約することができます。

そのほかのメディアからインストールする

お使いのシステム構成によって、必要なドライバーやユーティリティー、ソフトウェアをインストールします。インストールは、機器やソフトウェアのメディアを使用して行ってください。

- ●マウスユーティリティー
- ●ソフトウェア（Office など）
- ●プリンターのドライバー
- ●デジタルカメラのソフトウェア

など

ATOK のインストール

ATOK 無償試用版（30 日間）は、下記のページからダウンロードしてください。

http://www.atok.com/try/

再インストール後の作業

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

バックアップしたデータの復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータを復元します。

●Internet Explorer、Windows Live メールの設定

「PC お役立ちナビ」ー［お役立ち］ー「カテゴリから選ぶ」ー「Windows の操作」ー「バックアップ」ー「Windows 転送ツールを使う」

●そのほか重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

ドライブを作成する

Windows のインストール中に HDD 領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windows の「ディスクの管理」でドライブを作成すると、使用できるようになります。ドライブの作成方法は、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」ー［マニュアルびゅーわ］ー「機種名」ー「ユーザーズマニュアル 補足編」ー「HDD 領域の変更（拡張 / 縮小 / 削除 / 作成）」ー「ドライブを作成する場合」

ネットワークの設定

再インストールを行う前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークの設定を行います。
Wakeup On LAN を使用する場合は、設定を行います。

「PC お役立ちナビ」ー［マニュアルびゅーわ］ー「機種名」ー「ユーザーズマニュアル 補足編」ー「ネットワーク機能（有線 LAN）」ー「Wakeup On LAN」

Windowsやソフトウェアをアップデートする

再インストールをすると、今までに行った Windows やソフトウェアの更新が元の状態に戻ってしまいます。最新の状態になるよう、アップデートを行ってください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。

「PC お役立ちナビ」ー［マニュアルびゅーわ］ー「機種名」ー「ユーザーズマニュアル 補足編」ー「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

●ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

最新のドライバーを入手する

当社ユーザーサポートページでは、本機の最新ドライバーを提供しています。必要に応じ、ダウンロードしてご利用ください。

http://www.epsondirect.co.jp/support/

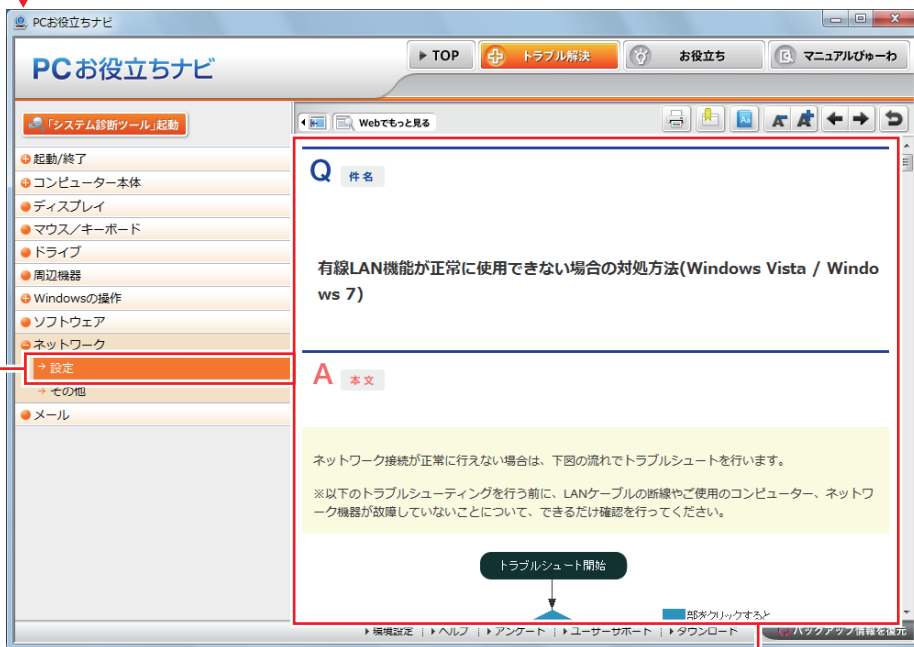
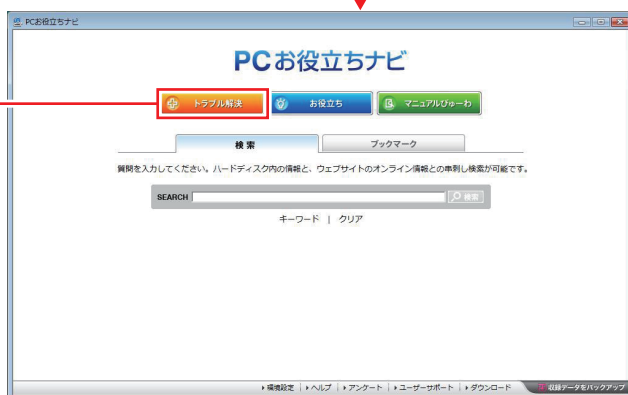
困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］で対処方法を探してください。

トラブルの種類を選択します

候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

システム診断ツール

「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］には、システム診断ツールが搭載されています。

p.63「システム診断ツールを使う」

トラブルシューティングツール

Windows 7 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

［スタート］ー「コントロールパネル」ー「システムとセキュリティ」ー「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」

トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。

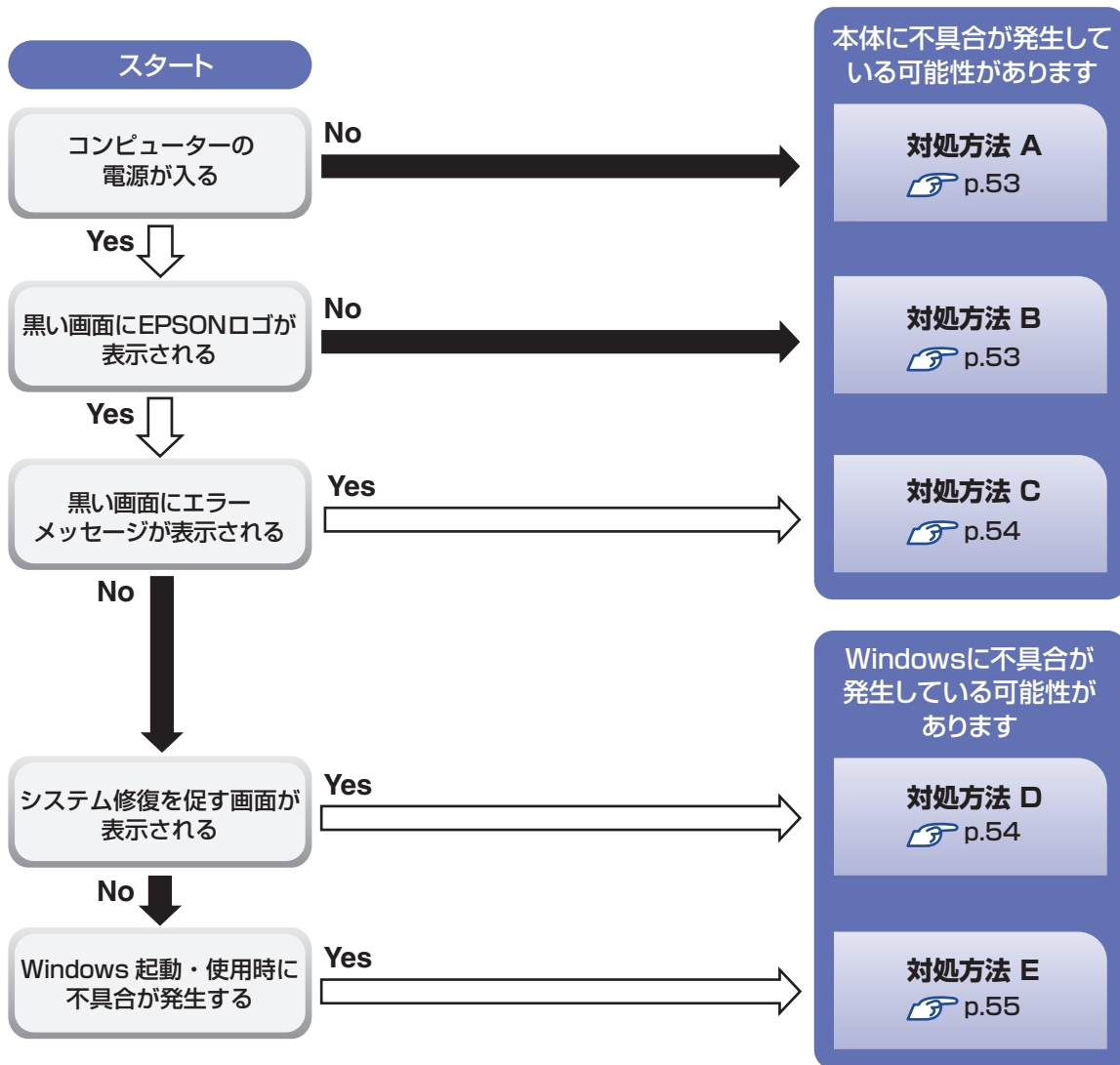
起動・画面表示できない場合

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、p.52「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、p.53「対処をする」へ進んでください。

対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処後も不具合が解消しない場合は、別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法　A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 電源コード /AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

3 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 電源コード /AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　C

まず、次の表をご覧になり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

メッセージ	内容および対処方法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	●ブートデバイスにシステムがない場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」－「Boot」メニュー画面－「Boot Option Priorities」で、システムの入ったデバイスを割り付けてください。 ●ブートデバイスにメディアが挿入されていない場合は、システムの入ったメディアをブートデバイスに挿入してください。
CMOS Battery Low	バックアップ用電池の容量が不足して、CMOS RAM の内容を保持できません。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。
CMOS Checksum Bad	CMOS の設定が正しく行われていません。「BIOS Setup ユーティリティー」－「Save & Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択してください。
CMOS Date/Time Not Set	日付と時間の設定が正しく行われていません。「BIOS Setup ユーティリティー」－「Main」メニュー画面で日付と時刻の設定をなおしてから「Save & Exit」メニュー画面－「Save Changes and Reset」を選択してください。

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　D

次のとおり対処してみてください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。
Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.35「ソフトウェアの再インストール」

対処方法　E

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.57「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

p.58「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

p.58「システムの復元」

4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

p.59「前回正常起動時の構成で起動する」

5 BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOS の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に BIOS の設定をメモしておいてください。

p.59「BIOS の初期化」

6 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.61「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

7 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。
Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.35「ソフトウェアの再インストール」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動 p.56 本機を再起動します。	・使用しているソフトウェアで指示があった場合 ・ソフトウェアや Windows の動作が不安定になったとき
ソフトウェアの強制終了 p.57 ソフトウェアを強制終了します。	・ソフトウェアや Windows が、キーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
セーフモードで起動 p.57 必要最低限の状態で Windows を起動します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
常駐ソフトの停止 p.58 不具合のある常駐ソフトを停止します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき(セーフモードで起動できたとき)
システムの復元 p.58 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
前回正常起動時の構成で起動 p.59 Windows を前回正常起動できた状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードでも起動できないとき）
BIOS の初期化 p.59 BIOS の設定を初期値に戻します。	・BIOS の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
リチウム電池の交換 p.60 リチウム電池を交換します。	・日時や時間がおかしくなる ・BIOS で設定した値が変わってしまう
Windows 回復環境（Windows RE） p.61 Windows を修復します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
ソフトウェアの再インストール p.35 本機を購入時の状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき）
システム診断ツール p.63 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

●使用しているソフトウェアで指示があった場合

●Windows の動作が不安定になった場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 [スタート] ー [▷] ー「再起動」をクリックします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアや Windows がキーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。
ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。
ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

1 **Ctrl ＋ Alt ＋ Delete を押します。**

2 **表示された項目から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。**

「Windows タスクマネージャー」が起動します。

3 **「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して［タスクの終了］をクリックします。**

強制的に電源を切る

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。
強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源スイッチ（ ⏻ ）を 5 秒以上押し続けます。**

本機の電源が切れます。

セーフモードでの起動

本機を正常に起動できない場合は、セーフモードで起動してみてください。
セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源を切り、20 秒程放置してから電源を入れます。**

2 **EPSON と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。**

3 **「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、↑ または ↓ を押して「セーフモード」を選択し、↵ を押します。**

セーフモードで起動できた場合は、不具合に対処してください。

常駐ソフトの停止

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。
常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

1 ［スタート］－「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、［↵］を押します。

2 「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、［OK］をクリックします。

3 「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、［再起動］をクリックします。

常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。
システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

1 ［スタート］－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」を選択します。

2 「システムの復元」画面に「推奨される復元」か「別の復元ポイントを選択する」の選択肢が表示された場合は、「推奨される復元」を選択します。

復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択します。

3 ［次へ］をクリックします。

4 復元ポイントの一覧が表示された場合は、復元ポイントを選択し、［次へ］をクリックします。

5 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、［完了］をクリックします。

6 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、［はい］をクリックします。

本機が再起動します。

7 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。

これでシステムの復元は完了です。

前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1 **本機の電源を入れます。**

2 **「EPSON」と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。**

3 **「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、↑ または ↓ を押して、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、↵ を押します。**

BIOSの初期化

「BIOS Setup ユーティリティー」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、BIOS Setup ユーティリティーの設定を BIOS の初期値に戻してみてください。
BIOS Setup ユーティリティーの設定を BIOS の初期値に戻す方法は、次のとおりです。
※「Security」メニュー画面にある項目の設定は、初期値に戻りません。

1 **本機の電源を入れます。**

すでに Windows が起動している場合は再起動します。

2 **本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに F2 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。**

Windows が起動してしまった場合は、再起動して 2 をもう一度実行してください。

3 **「BIOS Setup ユーティリティー」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。**

4 **F9 を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択すると次のメッセージが表示されます。**

```
Load Optimal Defaults
Load Optimal Defaults?
Yes        No
```

5 **[Yes] を選択して ↵ を押します。**

6 F10 を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Save Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

```
Save & reset
Save configuration and reset?
Yes          No
```

7 [Yes] を選択して ↵ を押します。

「BIOS Setup ユーティリティー」が終了し、Windows が起動します。

リチウム電池の交換

「BIOS Setup ユーティリティー」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されています。

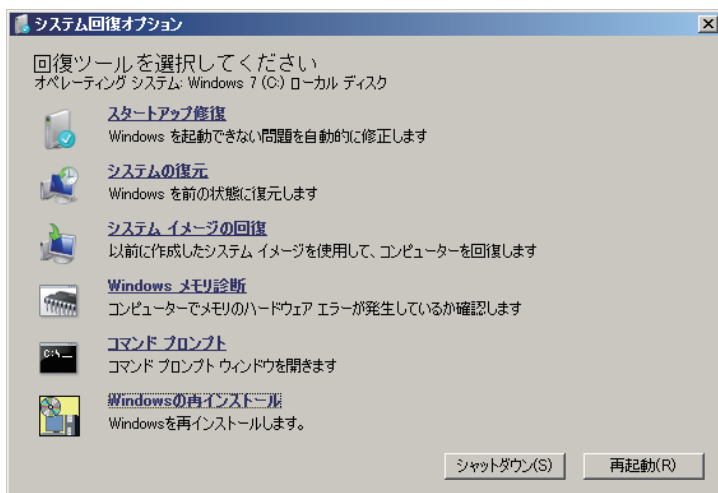
リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったく無い場合、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。

日付や時間がおかしくなったり、BIOS で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

Windows回復環境（Windows RE）を使う

本機のHDDと「Windows 7 リカバリーDVD」には、「Windows回復環境（Windows RE）」が設定されています。Windows REを使用して、修復を行ってみてください。

Windows REの項目

Windows REには、次の項目があります。

<イメージ>

●スタートアップ修復

Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

●システムの復元

コンピューターを以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。Windowsの動作が不安定な場合に行ってみてください。

p.58「システムの復元」

問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

●システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windowsの操作」－「バックアップ」－「「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

●Windowsメモリ診断

メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

●コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

HDD 内の Windows RE を起動する

HDD 内の Windows RE を起動する方法は、次のとおりです。

1. 本機の電源を切り、20 秒程放置してから、電源を入れます。

2. 「EPSON」と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

3. 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、↵ を押します。

4. 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

5. 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には、「パスワード」にパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

6. 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.61「Windows RE の項目」

DVD の Windows RE を起動する

Windows RE は、「Windows 7 リカバリー DVD」にも収録されています。HDD 内に設定されている Windows RE を消去してしまった場合などに使用してください。
DVD に収録されている Windows RE の起動方法は、次のとおりです。

1. 「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。

2. 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。

3. 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

4. オペレーティングシステムの一覧が表示されたら、[次へ] をクリックします。

5. 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.61「Windows RE の項目」

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の 2 種類があります。

●PC お役立ちナビから起動するシステム診断ツール

PC お役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windows を起動できる場合に使用します。

●CD から起動するシステム診断ツール

Windows が起動できない場合に、「リカバリーツール CD」からツールを起動してシステム診断を行います。

システム診断を実行する

Windows を起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows を起動できる場合

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。
実行方法は、次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「PC お役立ちナビ」アイコンをダブルクリックします。**

＜ PC お役立ちナビアイコン＞

2 **PC お役立ちナビが起動したら、［トラブル解決］－［システム診断ツール起動］をクリックします。**

3 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。**

4 **システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。**

該当項目の診断が開始されます。

5 **診断が終了したら、診断結果を確認します。**

「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧になり､テクニカルセンターまでご連絡ください。

Windows を起動できない場合

「リカバリーツール CD」からシステム診断ツールを起動します。
実行方法は、次のとおりです。

1 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。

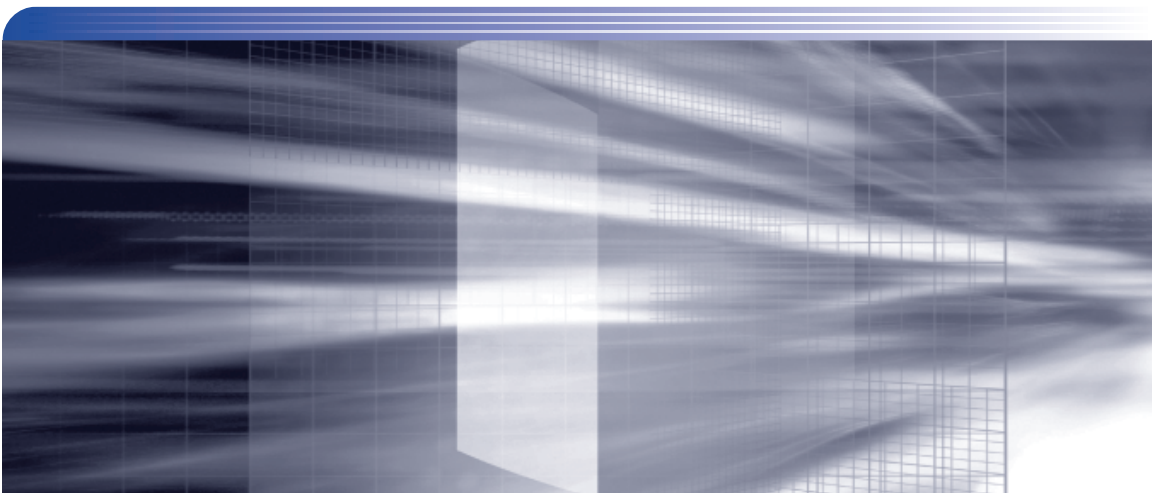
2 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えたあと、「Kernel Loading・・・Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。

システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。

3 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

4 光ディスクドライブから CD を取り出し、電源を切ります。

これでシステム診断は完了です。

付録

本機の仕様やマニュアルの表記方法などについて説明します。

各部の名称

正面・左側面

●内蔵マイク
●LCD ユニット
●LCD 画面
●内蔵ステレオスピーカー
●キーボード
●内蔵ステレオ
スピーカー
●AC アダプター DCIN
●LAN コネクター
●VGA コネクター
●HDMI コネクター HDMI
●USB3.0 コネクター
●メモリーカード
スロット
MMC.SD.MS/PRO
●クリックボタン
●タッチパッド
EPSON
Endeavor

電源スイッチ / ステータス表示ランプ

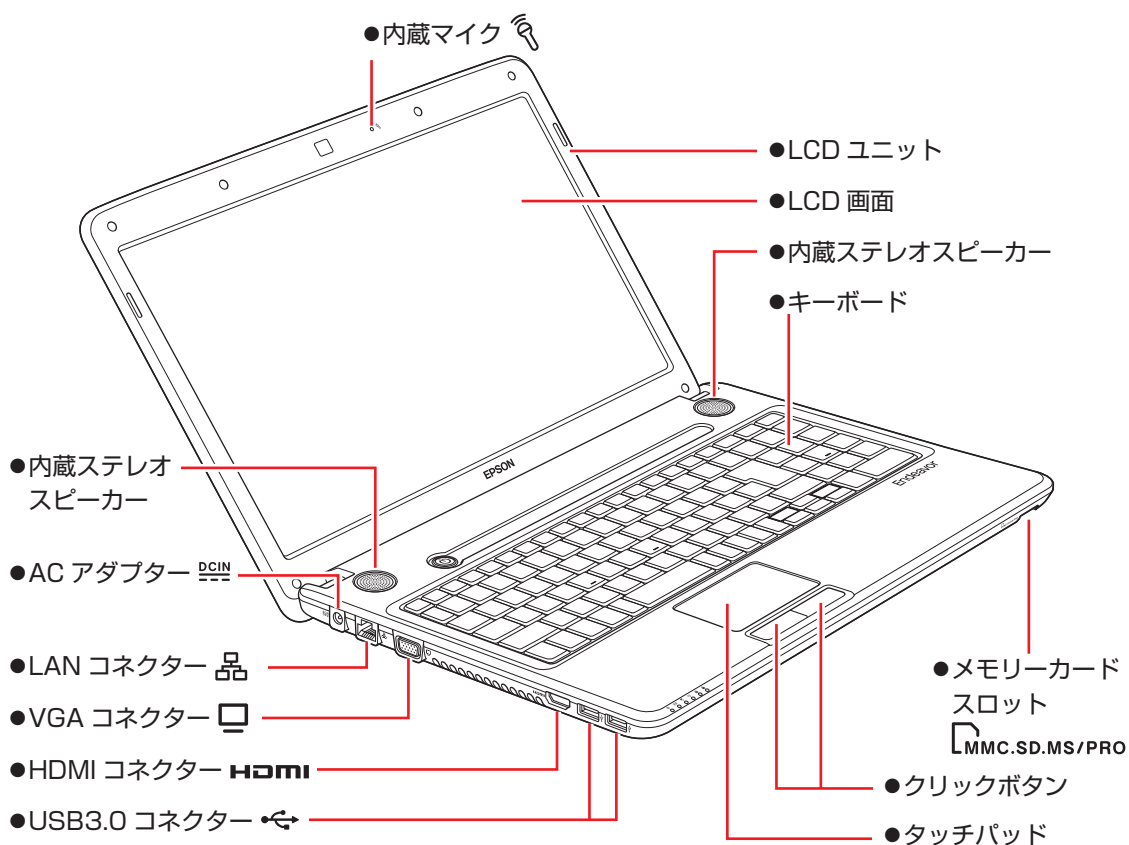
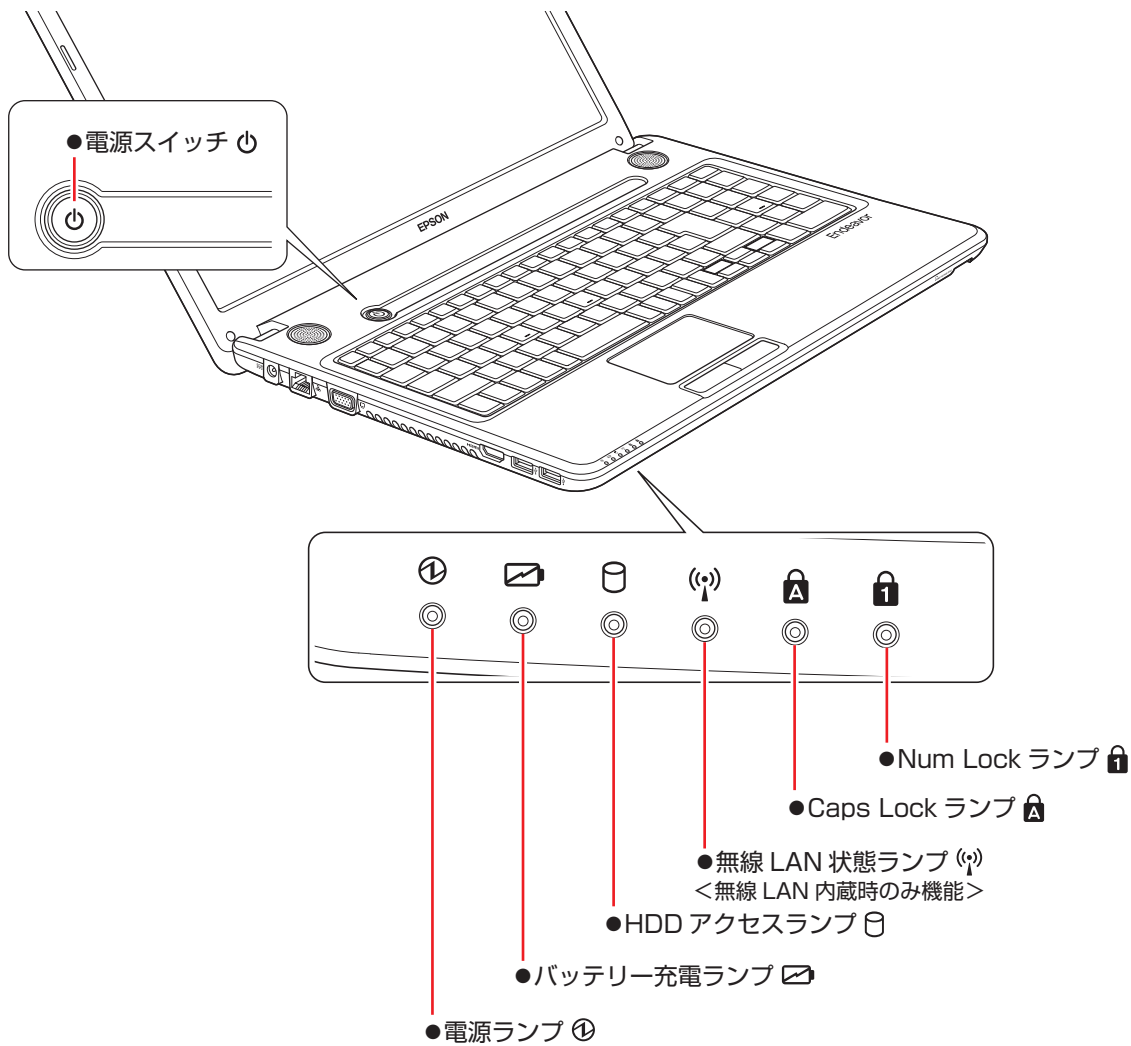
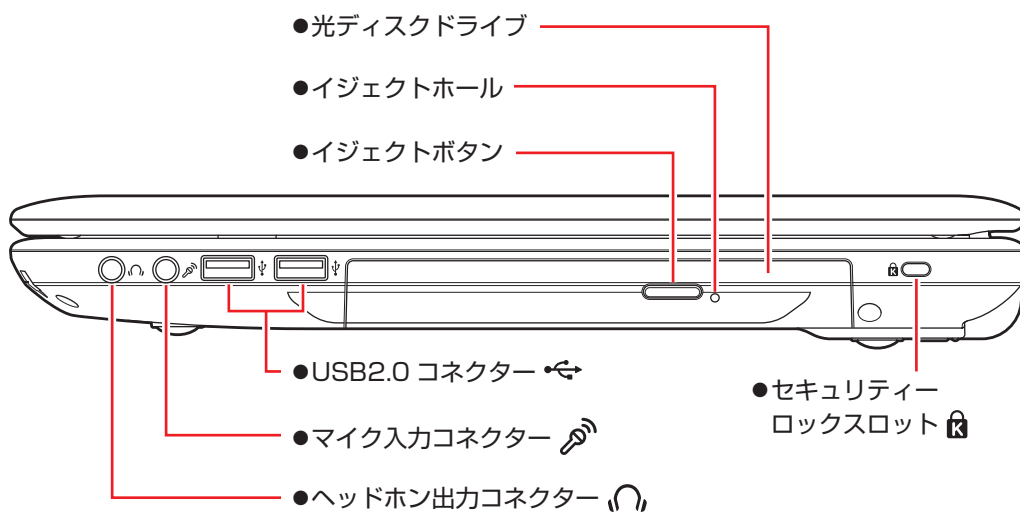
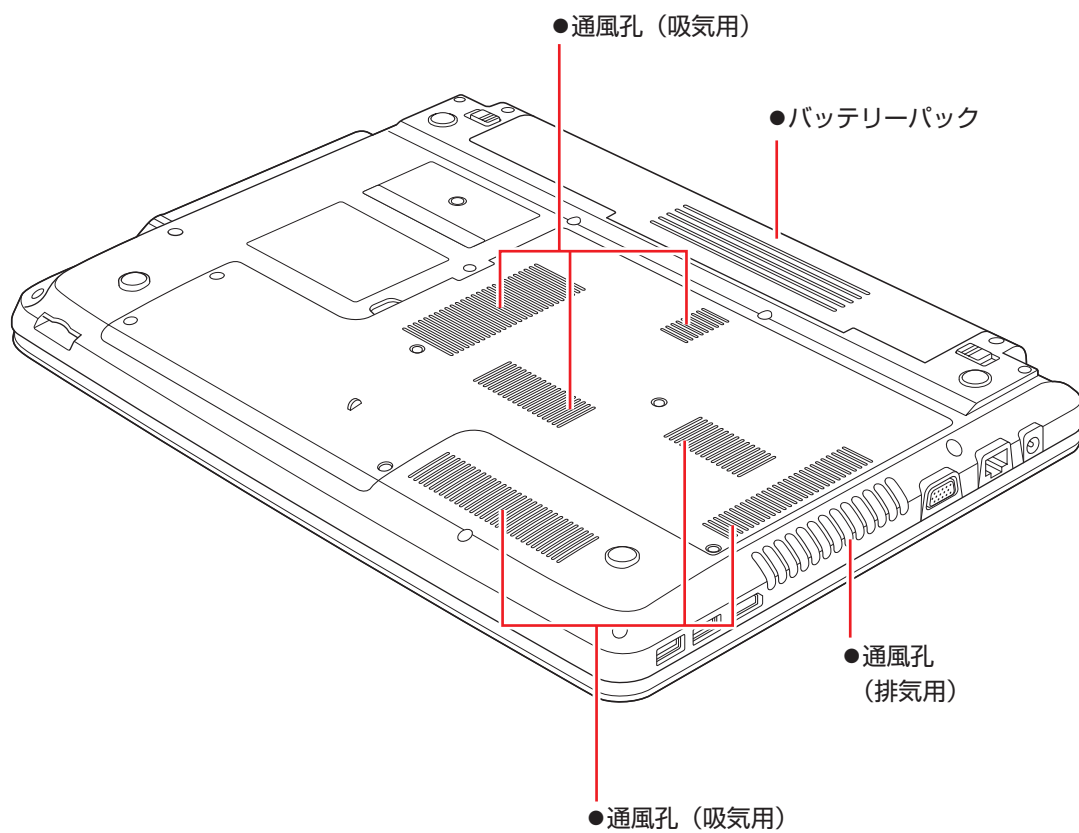
右側面

底面

●通風孔（吸気用）

●バッテリーパック

●通風孔
（排気用）

●通風孔（吸気用）

添付されているソフトウェア

本機に添付されているソフトウェアについて説明します。

表中記号の見方

	ソフトウェアのインストール用データは添付の DVD または CD に収録されています。
	ソフトウェアのインストール用データは HDD の「消去禁止領域」に収録されています。この領域を削除すると再インストールができなくなります。「消去禁止領域」は、絶対に削除しないでください。

消去禁止領域に収録されているソフトウェアのバックアップ

書き込み機能のある光ディスクドライブを搭載している場合、HDD の「消去禁止領域」に収録されているソフトウェアを、CD や USB 記憶装置にバックアップすることができます。

「PCお役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「機種名」－「ユーザーズマニュアル 補足編」 － 「消去禁止領域のデータをバックアップする」

本機にインストールされているソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
●Windows 7 本機のオペレーティングシステム（OS）です。	Windows 7 リカバリー DVD
●Windows XP Mode（Windows 7 Ultimate/Professional のみ） Windows 7 上で Windows XP を起動し、Windows XP のアプリケーションを動作させるための機能です。	
●リカバリーツール HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアを再インストールするためのプログラムです。	リカバリーツール CD
●本体ドライバー	消去禁止領域
• チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。	
• Intel Rapid Storage Technology ドライバー HDD を AHCI モードで動作させるためのドライバーです。	
• Intel Management Engine ドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。	
• ビデオドライバー Windows を高解像度・多色で表示するためのドライバーです。	
• NVIDIA ビデオドライバー(NJ5500E フル HD 液晶＆専用 GPU 搭載モデルのみ) NVIDIA® GeForce® GT 540M を使用するためのドライバーです。	

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
●本体ドライバー ・サウンドドライバー 音を鳴らしたり、録音するためのドライバーです。 ・タッチパッドドライバー タッチパッドを使用するためのドライバーです。 ・ネットワークドライバー ネットワーク機能（有線 LAN）を使用するためのドライバーです。 ・無線 LAN ドライバー（無線 LAN 内蔵時） 無線 LAN を使用するためのドライバーです。 ・WiMAX ドライバー（WiMAX 搭載時のみ） WiMAX を使用するためのドライバーです。 ・USB3.0 ドライバー USB3.0 を使用するためのドライバーです。 ・メモリーカードドライバー メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。 ・インスタントキーユーティリティー インスタントキーを使用するためのユーティリティーです。 ・Java2 Runtime Environment Java アプリケーションを実行するためのソフトウェアです。 ・PC お役立ちナビ コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。	消去禁止領域
●Internet Explorer 9 Web ページを閲覧するためのソフトウェアです。	
●Adobe Reader PDF（Portable Document Format）形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。	
●Windows Live Essentials 「Windows Live メール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。	
●Bing Bar Internet Explorer 上に設置される「Bing」の検索バーです。	
●マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーソフトウェアです。危険なサイトへのアクセスを防ぐ Web セーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザプラス」も含まれています。 購入時の選択によっては、インストールされていません。	
●WinDVD DVD VIDEO を再生するためのソフトウェアです。	
●Nero Multimedia Suite 10 Essentials （書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ） 光ディスクメディアに書き込みを行うためのソフトウェアです。	

必要に応じてインストールするソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。購入時は、「初期設定ツール」からインストールすることができます。

必要に応じてインストールするソフトウェア	インストール用データの収録場所
●i－フィルター 6　30 日版 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングソフトウェアです。	消去禁止領域
●Endeavor 電源プラン設定ツール 本機に節電設定を行うためのソフトウェアです。	
●ATOK 無償試用版（30 日間） 日本語変換に優れた、日本語入力システムです。	―

CD から起動するソフトウェア

次のソフトウェアは、CD から起動して実行します。インストールは必要ありません。

CD から起動するソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
●システム診断ツール コンピューターの調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD 内のデータを消去することもできます。	リカバリーツール CD

機能仕様一覧

NJ3500E の場合

CPU	プロセッサー	インテル Core i7、Core i5、Core i3、Celeron プロセッサー （種類は購入時の選択による）
	ソケット	Socket-G2
チップセット		モバイル インテル HM65 Express チップセット
BIOS		AMI BIOS
メイン メモリー*1	規格	PC3-10600（DDR3-1333 SDRAM）
	搭載可能容量（最大）	Windows 7 32bit 版：4GB（システム上利用できるのは約 3.4GB まで） Windows 7 64bit 版：8GB
	スロット	SODIMM スロット（204 ピン）× 2 （同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作）
ビデオコントローラー		インテル HD グラフィックス
ビデオ メモリー	Windows 7 32bit 版	最大 273MB ～ 1556MB（メインメモリーと共用、搭載容量により異なる）
	Windows 7 64bit 版	最大 276MB ～ 1696MB（メインメモリーと共用、搭載容量により異なる）
液晶タイプ、表示解像度（最大）		15.6 型 WXGA 液晶 1366 × 768 True Color 32 ビット*2
外部ディスプレイ表示解像度（最大）*3		1600 × 1200、1920 × 1200（ワイドディスプレイ接続時のみ） True Color 32 ビット*2
HDD		シリアル ATA300MB/s（または 600MB/s）対応 2.5 型 HDD （容量は購入時の選択による）
光ディスクドライブ		シリアル ATA 対応 スリム光ディスクドライブ（種類は購入時の選択による）
サウンド機能		インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応 CONEXANT 製 CX20671 コントローラー、ステレオスピーカー（出力 2.0W × 2）、モノラルマイク
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 Atheros 製 AR8151 コントローラー
キーボード		日本語対応 104 キー（10 キー付き）
ポインティングデバイス		タッチパッド
インタ フェース	USB	4：USB3.0 × 2（左側面）、USB2.0 × 2（右側面）
	LAN	1：RJ-45
	サウンド	マイク入力× 1、ヘッドホン出力× 1
	ディスプレイ	VGA ミニ D-SUB 15 ピン× 1、HDMI 19 ピン× 1（オプションの HDMI-DVI 変換アダプター使用で、HDMI をデジタル DVI-D 24 ピンに変換）
メモリーカードスロット*4		1:SD メモリーカード(SDHC/SDXC 対応)、マルチメディアカード(Plus 対応)、メモリースティック（PRO/PRO-HG/XC 対応）
電源	AC アダプター*5 （ADP-65JH）	入力：AC100V ～ 240V ± 10%（50/60Hz）、1.5A 出力：DC19V、3.42A、65W　質量：約 320g（電源コード含む）
	標準バッテリー （BT3208-B）	容量：4400mAh リチウムイオン 10.8V 駆動時間*6:約 5.3 時間（Core i シリーズ搭載時)、約 4.7 時間（Celeron 搭載時）
本体寸法（幅×奥行き×高さ）		380 × 262 × 34 ～ 37mm
本体質量（バッテリー含む）		約 2.5kg
消費電力（AC 側）		最大定格出力時（理論値）：76.5 W
動作環境		動作温度：10 ～ 35℃、動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

*1 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり（当社ホームページ参照）。
*2 ビデオコントローラーのディザリング機能により約 1,677 万色を実現。
*3 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度（実際の表示は接続するディスプレイの仕様による）。
*4 SD メモリーカード、メモリースティックの著作権保護機能、メモリースティックの高速転送、セキュリティー機能には非対応。
*5 標準添付の電源コードは、AC100V 用（日本仕様）。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。
*6 動作時間は JEITA 測定方法 Ver1.0 に基づく測定値（システム構成や使用環境により異なる）。

NJ5500E の場合

モデル名		Quad コア CPU 搭載モデル	フル HD 液晶 & 専用 GPU 搭載モデル
CPU	プロセッサー	インテル Core i7 プロセッサー	インテル Core i7、Core i5、Core i3 プロセッサー（種類は購入時の選択による）
	ソケット	Socket-G2	
チップセット		モバイル インテル HM65 Express チップセット	
BIOS		AMI BIOS	
メインメモリー*1	規格	PC3-10600（DDR3-1333 SDRAM）	
	搭載可能容量（最大）	Windows 7 32bit 版：4GB（システム上利用できるのは約 3.4GB まで） Windows 7 64bit 版：8GB	
	スロット	SODIMM スロット（204 ピン）× 2 （同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作）	
ビデオコントローラー		インテル HD グラフィックス	インテル HD グラフィックス＋NVIDIA® GeForce® GT 540M
ビデオメモリー	Windows 7 32bit 版	メインメモリーと共用：最大 784MB（2GB 搭載時）、1556MB（4GB 搭載時）	1GB（GPU 搭載専用ビデオメモリー）＋最大 720MB ～ 1236MB（メインメモリーと共用、搭載容量により異なる）
	Windows 7 64bit 版	メインメモリーと共用：最大 787MB（2GB 搭載時）、1696MB（4GB および 8GB 搭載時）	1GB（GPU 搭載専用ビデオメモリー）＋最大 723MB ～ 3071MB（メインメモリーと共用、搭載容量により異なる）
液晶タイプ、表示解像度（最大）		15.6 型 WXGA 液晶 1366 × 768 True Color 32 ビット*2	15.6 型フル HD 液晶 1920 × 1080 True Color 32 ビット*2
外部ディスプレイ表示解像度（最大）*3		1600 × 1200、1920 × 1200（ワイドディスプレイ接続時のみ） True Color 32 ビット*2	
HDD		シリアル ATA300MB/s（または 600MB/s）対応 2.5 型 HDD （容量は購入時の選択による）	
光ディスクドライブ		シリアル ATA 対応 スリム光ディスクドライブ（種類は購入時の選択による）	
サウンド機能		インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応 CONEXANT 製 CX20671 コントローラー、ステレオスピーカー（出力 2.0W × 2）、モノラルマイク	
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 Atheros 製 AR8151 コントローラー	
キーボード		日本語対応 104 キー（10 キー付き）	
ポインティングデバイス		タッチパッド	
インタフェース	USB	4：USB3.0 × 2（左側面）、USB2.0 × 2（右側面）	
	LAN	1：RJ-45	
	サウンド	マイク入力× 1、ヘッドホン出力× 1	
	ディスプレイ	VGA ミニ D-SUB 15 ピン× 1、HDMI 19 ピン× 1（オプションの HDMI-DVI 変換アダプター使用で、HDMI をデジタル DVI-D 24 ピンに変換）	
メモリーカードスロット*4		1：SD メモリーカード（SDHC/SDXC 対応）、マルチメディアカード（Plus 対応）、メモリースティック（PRO/PRO-HG/XC 対応）	
電源	AC アダプター*5（ADP-90CD）	入力：AC100V ～ 240V ± 10%（50/60Hz）、1.5A 出力：DC19V、4.74A、90W　質量：約 452g（電源コード含む）	
	標準バッテリー（BT3208-B）	容量：4400mAh リチウムイオン 10.8V 駆動時間*6：約 5.3 時間	容量：4400mAh リチウムイオン 10.8V 駆動時間*6：約 5.0 時間（最小構成時）
本体寸法（幅×奥行き×高さ）		380 × 262 × 34 ～ 37mm	
本体質量（バッテリー含む）		約 2.5kg	約 2.6kg
消費電力（AC 側）		最大定格出力時（理論値）：105.9 W	
動作環境		動作温度：10 ～ 35℃、動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	

*1 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり（当社ホームページ参照）。
*2 ビデオコントローラーのディザリング機能により約 1,677 万色を実現。
*3 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度（実際の表示は接続するディスプレイの仕様による）。
*4 SD メモリーカード、メモリースティックの著作権保護機能、メモリースティックの高速転送、セキュリティー機能には非対応。
*5 標準添付の電源コードは、AC100V 用（日本仕様）。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。
*6 動作時間は JEITA 測定方法 Ver1.0 に基づく測定値（システム構成や使用環境により異なる）。

無線LAN*[1]（オプション）

※ WiMAX搭載無線LANの仕様については、別冊『WiMAXをご使用の前に』をご覧ください。

●IEEE802.11a/b/g/n

準拠規格	IEEE802.11a/n 無線LAN標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線LAN標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度（規格値）*2	IEEE802.11a/g：54Mbps、IEEE802.11b：11Mbps、 IEEE802.11n　：300Mbps
変調方式	DS-SS方式、OFDM方式
伝送距離（理論値）*3	IEEE802.11a（54Mbps）：12m、IEEE802.11b（11Mbps）：40m、 IEEE802.11g（54Mbps）：25m
セキュリティー*4	IEEE802.11a/b/g：128/64bit WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x認証に対応 IEEE802.11n　：WPA、WPA2（AESのみ）、IEEE802.1x認証に対応
使用無線チャンネル	IEEE802.11a /n　：36/40/44/48ch（W52）、52/56/60/64ch（W53）、 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch（W56） IEEE802.11b/g/n：1～13ch

*1 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。
認証製品名：62205ANHMW
認証番号　：003WWA100941、003XWA100942、003YWA100943

*2 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*3 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windowsなどの使用条件によって短くなります。

*4 IEEE802.1xについて、Windows Server 2003とのIEEE802.1x Radius Server（EAP-TLS対応認証サーバー）＋WPA（TKIP）の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz（802.11a/n）または2.4GHz（802.11b/g/n）の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz（W52、W53）の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHzの周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
  （1）本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
  （2）万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
  （3）電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

本機の無線設備は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

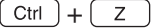
本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPU の種類･メモリー容量など､選択された仕様に合わせて､お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に提供されている場合があります。
お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- ●本製品に同梱されている別冊マニュアル
- ●CD-ROM などに収録されている電子マニュアル
- ●「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］に収録されている電子マニュアル

マニュアル中の表記

安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

制限	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
参考	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
1 2	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

▮▮▮▮▶	手順が次ページに続くことを示します。
Ctrl	[ ] で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。 [↵] は Enter キーを表します。また、[N] は [N み] のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
Ctrl + Z	＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。 この例では、[Ctrl] を押したまま [Z] を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

☞	本書内の参照ページを示します。
別冊	別冊子を示します。
『　』	冊子の名称を示します。 例）『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディア、Blu-ray Disc メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称
メモリーカード	メモリースティック、マルチメディアカード、SD メモリーカードの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する表記

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 7 32 bit 版	Windows® 7 Ultimate 32 bit 版 Windows® 7 Professional 32 bit 版 Windows® 7 Home Premium 32 bit 版
Windows 7 64 bit 版	Windows® 7 Ultimate 64 bit 版 Windows® 7 Professional 64 bit 版 Windows® 7 Home Premium 64 bit 版

HDD 容量の記載

本書では、HDD 容量を 1GB（ギガバイト）=1000MB として記載しています。

メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB（ギガバイト）=1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載方法

デスクトップ画面

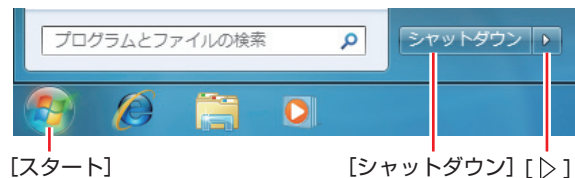
本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。

ボタン

ボタンは［　］で囲んで記載しています。

例） OK ：[OK]

スタートメニュー

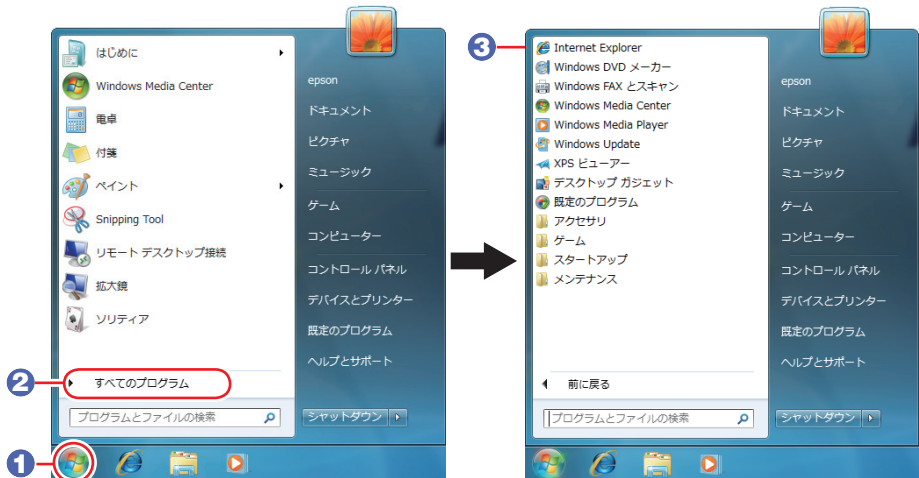
スタートメニューのボタン類は、次のように記載しています。

画面操作

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載します。

●記載例

［スタート］ －「すべてのプログラム」－「Internet Explorer」をクリックします。

●実際の操作

1. ［スタート］をクリックします。
2. 表示されたメニューから「すべてのプログラム」をクリックします。
3. 表示されたメニューから「Internet Explorer」をクリックします。

※表示される項目は、システム構成によって異なります。

コントロールパネル

本書では、コントロールパネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。

<表示方法：カテゴリ>

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。
本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼動システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。
上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。
* LCD ユニットを最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。
電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

レーザー製品安全基準

＜光ディスクドライブ搭載の場合＞
本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

＜レーザーマウス添付の場合＞
本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

パソコン回収について

当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。
PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。
パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

http://shop.epson.jp/pcrecycle/

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。
また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Live、Internet Explorer、Hotmail、Silverlight、MSN、Outlook、Bing は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- McAfee およびマカフィーは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Memory Stick、マジックゲート、Memory Stick のロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Multi Media Card™ は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- WiMAX は、WiMAX フォーラムの商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

EPSON DIRECT CORPORATION

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/

C77648001 12.02-30（SO）